

2018

# 2018(平成30)年度 履修の手引

未来創造学部

卒業まで使用しますので  
必ず保管して下さい

# 目 次

I 教育ポリシー	1
1. 大学の使命・目的	
2. 未来創造学部の教育理念	
3. 人材養成の目的	
4. 三つのポリシー	
II カリキュラム	3
1. 教育課程（カリキュラム）の概要と特色	
2. 科目一覧	
3. カリキュラム・マップ、ナンバリング	
4. カリキュラム・ツリー	
III 授業と履修	33
1. 授業科目の区分	
2. 単位	
3. 卒業に必要な単位	
4. 卒業に必要な単位の履修方法	
5. 進級に必要な単位及び基準	
6. 履修登録単位の制限	
7. 他学部・他学科などの受講	
8. 履修登録	
9. 履修登録手続き	
10. 履修登録上の注意	
11. 授業	
IV 試験と成績	42
1. 達成度確認試験	
2. 追試験	
3. 確認試験	
4. 受験停止	
5. 試験などの受験資格	
6. 受験上の注意	
7. 不正行為	
8. 成績評価	
9. GPA制度	
10. 成績通知	

11. 成績疑義照会制度	
12. 成績に関する問い合わせ	
<b>V 留学</b> .....	47
1. 留学の種類	
2. 留学形態	
3. 留学先	
4. 単位認定	
5. 留学に関する窓口	
<b>VI 教職課程</b> .....	49
<b>VII 学籍の異動</b> .....	50
1. 休学	
2. 復学	
3. 退学	
4. 再入学	
5. 転学科	
6. 転学部	
<b>VIII 各種検定試験</b> .....	51
1. 語学検定試験	
2. 資格検定による単位認定	
<b>IX 諸規程</b> .....	53
北陸大学履修規程	
北陸大学未来創造学部履修細則	
北陸大学公認欠席等に関する細則	
北陸大学成績疑義照会内規	
北陸大学学生懲戒規程	
北陸大学試験等不正行為規程	

# I 教育ポリシー

## 1. 北陸大学の使命・目的

『健康社会の実現』

## 2. 未来創造学部教育理念

創造力と人間力を備えた人材の育成をもって、健全な社会の実現を目指す

## 3. 人材養成の目的

### 【未来創造学部】

グローバルな視野と異文化への深い理解、高いコミュニケーション力により、世界の人々と自由闊達に意見交換し、現代社会に生起するさまざまな課題に的確に対応し、あるべき未来を自ら創造できる人間力あふれる人材を養成する。

#### (1) 国際教養学科

英語又は中国語のコミュニケーション力を身につけ、国際感覚と豊かな教養を備えた、地域社会と国際社会で活躍できる人材を養成する。

#### (2) 国際マネジメント学科

国際的な視野での実務的マネジメント力を身につけ、かつ幅広い知識と教養及び外国語コミュニケーション力を備えた、地域社会と国際社会で活躍できる人材を養成する。

## 4. 三つのポリシー

### 【大学全体】

#### ○学位授与方針（DP：ディプロマ・ポリシー）

本学の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の能力を備えた者に卒業を認定し、学位を授与する。

- (1) 修得した知識や知見により、自らが課題を発見し解決する力
- (2) 社会で求められるコミュニケーション力と的確な判断力
- (3) 自らを律し、他者と協調して行動でき、社会の発展に寄与できる力

#### ○教育課程編成方針（CP：カリキュラムポリシー）

本学では、基礎教育科目、外国語科目及び専門教育科目の三つを柱とし、各学部学科の教育目標にあわせた教育課程を編成する。また、課外教育においても、充実した各種教育プログラムを展開し、全教職員で本学学生の人間的成長を促し、全人教育を実現する。

- (1) 基礎教育科目を通して、専門性にとらわれない広い視野と豊かな人間性を持つ人材を育成する。
- (2) 外国語科目を通して、グローバルに活躍できる外国語によるコミュニケーション力を身につけた人材を育成する。
- (3) 専門教育科目を通して、専門的な知識を修め、社会の進歩や変革に答え得る深い学識を有する人材を育成する。
- (4) 各種課外教育プログラムを通して、国際性と地域性を兼ね備えた21世紀に求められる人材を育成する。

## ○入学者受入方針（AP：アドミッションポリシー）

建学の精神に基づき、21世紀に必要とされる幅広い教養を身につけ、社会で即戦力となる人材育成を目標とした実学教育を実践し、学生一人ひとりに深い愛情と情熱を注ぎ、親身な指導を通して学生の人格を形成することを教育理念とし、学ぶ意欲のある者を広く受け入れる。

- (1) 心身ともに、未来に生きるたくましさに満ちた人
- (2) 明るくさわやかに、学ぶ大切さと喜びを知り、行動する人
- (3) 人の痛みが分かり、心優しく思いやりのある豊かな人
- (4) 礼節を重んじ、正直で誠実に何事にも真摯に取り組む人
- (5) 豊かな教養、優れた外国語能力とコミュニケーション力、的確な判断力を持ち、世界の発展に貢献できる人
- (6) 自らの生活を律し、人間形成に努める人

## 【未来創造学部】

### ○学位授与方針（DP：ディプロマポリシー）

#### ・国際教養学科：学士（文学）

- (1) 豊かな教養を修め、グローバルな視点に立って国際社会で主体的に行動できる学生
- (2) 英語または中国語について、専門的かつ実践的な知識と運用能力を備えている学生
- (3) 社会において主体的に様々な問題を発見し、解決できる学生

#### ・国際マネジメント学科：学士（マネジメント学）

- (1) 広い視野、豊かな教養と社会人としてのモラルを兼ね備え、諸課題に柔軟に対応することのできる学生
- (2) 経営・経済、法律、スポーツ等の幅広い分野で活躍できる総合的マネジメント能力を有する学生
- (3) リーダーとして、地域社会と国際社会に積極的に係わることのできる学生

### ○教育課程編成方針（CP：カリキュラムポリシー）

#### ・国際教養学科

- (1) 英語・中国語による高いコミュニケーションスキルの養成
- (2) 世界の文化の多様性と、その中での日本文化の理解
- (3) 地域研究による多元的な国際関係の理解
- (4) 現代社会で実践的に活躍する力の養成

#### ・国際マネジメント学科

- (1) マネジメントに必要な経営・経済及び法律知識の修得
- (2) 広い視野と豊かな教養に基づき、現代社会に生起する多様な諸問題に対して円滑に対応できるコミュニケーション力の養成
- (3) 自ら問題を発見し、的確な判断によって解決できる能力の養成
- (4) 国際社会で活用することができる基礎的な英語・中国語力の養成

### ○入学者受入方針（AP：アドミッションポリシー）

#### ・国際教養学科

国際教養学科で学ぼうとする明確な意欲と異文化を理解する寛容な精神を持ち、国際社会や地域文化に対する知識を活かして社会に貢献したい人、英語・中国語による優れたコミュニケーション力を身につけ、海外で活躍する意欲のある人を求める。

#### ・国際マネジメント学科

国際マネジメント学科で学ぼうとする明確な意欲を持ち、行動力や意欲・熱意に富んでいる人、現代社会の動きに興味と関心を抱き、知的好奇心旺盛な人、国際社会での活躍を志している人を求める。

## Ⅱ カリキュラム

### 1. 教育課程（カリキュラム）の概要と特色

本学部の修業年限は、4年です。各年次を経て4年以上（8年以内）在学し、所定の科目を履修のうえ、128単位以上修得した学生に対し、国際マネジメント学科では学士（マネジメント学）、国際教養学科では学士（文学）の学位が授与されます。

カリキュラムは、体系的に学修できるよう、授業科目を各年次に配当して編成されています。学科によって進級や卒業に必要な要件が決められていますので、それらをよく理解し、各自の学修目標に合った履修計画を立ててください。

#### (1) 外国語科目群

現代の社会において、外国語を学ぶ重要性は、いくら強調しても足りることはありません。未来創造学部では、外国語科目は世界の二大言語である英語と中国語に特化しています。

国際マネジメント学科では、英語、中国語または日本語のいずれか一つを履修します。

国際教養学科でも英語、中国語または日本語のいずれか一つを履修しますが、国際マネジメント学科より多くの時間をかけて外国語の修得の為に学びます。

#### (2) 基礎教育科目群

大学での授業は、高校時代の授業とは違います。高校時代の授業は、どちらかという基礎的な知識を身につけることを目的にしていたのに対し、大学では、それらの知識を活用して自ら考え、問題点を発見し、解決する能力を開発することを目的としています。基礎教育科目群では、そうした能力を開発するための基本を学ぶことを目的としています。

これらの能力は、また、健全な肉体と豊かな人間性に支えられて開発されます。そのため、基礎教育科目群には演習科目、未来創造科目、一般教養科目、情報科目、キャリア科目、健康科目、シティカレッジ科目、留学科目によって構成されています。

#### (3) 国際マネジメント科目群

未来創造学部の基幹科目の1つであるマネジメント科目を重点的に配置しています。マネジメントという難しい科目のように思われがちですが、国際社会で起きる諸問題を戦略的に解決する実務的能力を学修する学問です。

「経済」、「経営・会計」、「法律」、「スポーツマネジメント」の4つのコースに配置された多彩な科目から、学生一人ひとりが興味や志望進路に応じた科目を履修することによって総合的なマネジメント力の涵養を図ります。

#### (4) 国際教養科目群

未来創造学部の基幹科目の1つである教養科目を重点的に配置しています。多様な価値観が交錯する現代社会において、自己の確立を育成する要素として教養及び人間力を養うことを目的とします。

「英語・中国語」、「日本語」、「文化・観光」、「国際関係」の4つのコースに配置された多岐にわたる科目から、学生一人ひとりが興味や志望進路に応じた科目を履修することによって、国際社会に貢献できるグローバルな視野と豊かな人間性の涵養を図ります。

## 2. 科目一覧（履修細則別表1 平成29年度及び平成30年度入学編入生）

### 【国際教養学科】

科目区分	授 業 科 目	単位数	配当年次		
学部 共通 基礎 教育 科目 郡	演習科目	基礎ゼミナール	4	1	
		ゼミナールⅠ	4	2	
		ゼミナールⅡ	4	3	
		卒業研究	4	4	
	科創未 目造来	未来創造論Ⅰ	2	1	
		未来創造論Ⅱ	2	1	
	健康 科目	スポーツⅠ	*	1	1
		スポーツⅡ	*	1	1
		スポーツⅢ	*	1	2
		スポーツⅣ	*	1	2
	一般 教養 科目	哲学	*	2	1
		倫理学	*	2	1
		自然科学概論	*	2	1
		生命科学	*	2	2
		地誌	*	2	2
		人文地理概論Ⅰ	*	2	3
		人文地理概論Ⅱ	*	2	3
		自然地理Ⅰ	*	2	2
		自然地理Ⅱ	*	2	2
		環境学	*	2	3
		日本史	*	2	1
		日本近代史	*	2	2
		日本現代史	*	2	2
	東洋史	*	2	3	
	西洋史	*	2	3	
	情報 科目	情報処理入門		2	1
		情報と社会	*	2	1
情報処理基礎		*	2	2	
情報とコンピュータ		*	2	2	
情報処理応用		*	2	2	
ITマネジメント論		*	2	2	
キャ リア 科目	キャリア基礎演習Ⅰ	*	1	1	
	キャリア基礎演習Ⅱ	*	1	1	
	文章理解Ⅰ	*	1	2	
	文章理解Ⅱ	*	1	2	
	文章理解Ⅲ	☆	1	3	
	キャリア演習AⅠ	☆	1	2	
	キャリア演習AⅡ	☆	1	2	
	キャリア演習AⅢ	☆	1	3	
	キャリア演習AⅣ	☆	1	3	
	キャリア演習BⅠ	☆	1	2	
	キャリア演習BⅡ	☆	1	2	
	キャリア演習BⅢ	☆	1	3	
	法学演習Ⅰ	☆	1	1	
	法学演習Ⅱ	☆	1	2	
	法学演習Ⅲ	☆	1	2	
	法学演習Ⅳ	☆	1	3	
	法学演習Ⅴ	☆	1	3	
	法学演習ⅥA	☆	1	4	

科目区分	授 業 科 目	単位数	配当年次	
学部共通基礎教育科目郡	キャリア科目	法学演習ⅥB ☆	1	4
		法学演習ⅥC ☆	1	4
		ライフプランニング論 *	2	1
		コミュニケーション論 *	2	2
		現代社会と職業 *	2	2
		能力開発論（インターンシップ） *	2	3
		コミュニケーション演習 *	2	3
		旅行業務Ⅰ（国内） ☆	2	2
		旅行業務Ⅱ（総合） ☆	2	3
	シティカレッジ科目	シティカレッジ科目Ⅰ *	1	
		シティカレッジ科目Ⅱ *	1	
		シティカレッジ科目Ⅲ *	1	
		シティカレッジ科目Ⅳ *	1	
		シティカレッジ科目Ⅴ *	1	
		シティカレッジ科目Ⅵ *	1	
		シティカレッジ科目Ⅶ *	1	
		シティカレッジ科目Ⅷ *	1	
		シティカレッジ科目Ⅸ *	1	
		シティカレッジ科目Ⅹ *	1	
		シティカレッジ科目Ⅺ *	1	
		シティカレッジ科目Ⅻ *	1	
	海外留学科目	短期海外研修A *	1	1・2・3・4
		短期海外研修B *	1	1・2・3・4
		短期海外研修C *	1	1・2・3・4
		短期海外研修D *	1	1・2・3・4
		語学研修A *	2	1・2・3・4
		語学研修B *	2	1・2・3・4
		語学研修C *	2	1・2・3・4
		語学研修D *	2	1・2・3・4
		海外研修 *	2	1・2・3・4
		海外留学A *	6	1・2・3・4
		海外留学B *	6	1・2・3・4
海外留学C *	6	1・2・3・4		
海外留学D *	6	1・2・3・4		
外国語科目群	英	リサーチプロジェクトⅠ *	2	1
		リサーチプロジェクトⅡ *	2	1
		リサーチプロジェクトⅢ *	2	2
		リサーチプロジェクトⅣ *	2	2
		リサーチプロジェクトⅤ *	2	3
		リサーチプロジェクトⅥ *	2	3
		リサーチプロジェクトⅦ *	2	4
		リサーチプロジェクトⅧ *	2	4
		イングリッシュコミュニケーションⅠ *	1	1
		イングリッシュコミュニケーションⅡ *	1	1
	語	イングリッシュコミュニケーションⅢ *	1	2
		イングリッシュコミュニケーションⅣ *	1	2
		イングリッシュコミュニケーションⅤ *	1	3
		イングリッシュコミュニケーションⅥ *	1	3
		資格英語Ⅰ *	1	1
		資格英語Ⅱ *	1	1
		資格英語Ⅲ *	1	2
		資格英語Ⅳ *	1	2
		資格英語Ⅴ *	1	3



科目区分	授 業 科 目	単位数	配当年次
外国語科目群	英語	資格英語Ⅵ *	1 3
		英語文法学演習Ⅰ *	1 2
		英語文法学演習Ⅱ *	1 2
	中 国 語	中国語Ⅰ *	2 1
		中国語Ⅱ *	2 1
		中国語Ⅲ *	2 1
		中国語Ⅳ *	2 1
		中国語Ⅴ *	2 2
		中国語Ⅵ *	2 2
		中国語会話Ⅰ *	1 1
		中国語会話Ⅱ *	1 1
		中国語会話Ⅲ *	1 2
		中国語会話Ⅳ *	1 2
		中国語総合演習Ⅰ *	1 3
		中国語総合演習Ⅱ *	1 3
		中国語作文Ⅰ *	1 2
		中国語作文Ⅱ *	1 2
		中国語文法基礎Ⅰ *	1 2
		中国語文法基礎Ⅱ *	1 2
		中国語コミュニケーションⅠ *	1 3
		中国語コミュニケーションⅡ *	1 3
		資格中国語Ⅰ *	1 3
		資格中国語Ⅱ *	1 3
	資格中国語Ⅲ *	1 4	
	資格中国語Ⅳ *	1 4	
	中国語表現法Ⅰ *	1 4	
	中国語表現法Ⅱ *	1 4	
	日 本 語	日本語Ⅰ *	1 1
		日本語Ⅱ *	1 1
		日本語Ⅲ *	1 1
		日本語Ⅳ *	1 1
		日本語Ⅴ *	1 2
		日本語Ⅵ *	1 2
		日本語Ⅶ *	1 2
		日本語Ⅷ *	1 2
		上級日本語Ⅰ *	1 4
		上級日本語Ⅱ *	1 4
		上級日本語Ⅲ *	1 4
		上級日本語Ⅳ *	1 4
		日本語演習Ⅰ *	1 3
		日本語演習Ⅱ *	1 3
		日本語演習Ⅲ *	1 3
日本語演習Ⅳ *		1 3	
日本語演習Ⅴ *		1 3	
日本語演習Ⅵ *		1 3	
日本語演習Ⅶ *		1 3	
日本語演習Ⅷ *		1 3	
資格日本語Ⅰ *		1 1	
資格日本語Ⅱ *		1 1	
資格日本語Ⅲ *		1 2	
資格日本語Ⅳ *		1 2	
上級資格日本語Ⅰ *		1 3	
上級資格日本語Ⅱ *	1 3		

科目区分		授 業 科 目	単位数	配当年次		
外国語科目群	日本語	上級資格日本語Ⅲ	*	1	3	
		上級資格日本語Ⅳ	*	1	3	
		上級資格日本語Ⅴ	*	1	4	
		上級資格日本語Ⅵ	*	1	4	
		上級資格日本語Ⅶ	*	1	4	
		上級資格日本語Ⅷ	*	1	4	
国際教養科目群	総合	国際教養論		2	1	
		宗教学入門		2	1	
		芸術学	*	2	1	
		日本の伝統芸術	*	2	2	
		金沢の文化	*	2	2	
		ヨーロッパの文化	*	2	3	
		アメリカの文化	*	2	3	
		はじめての中国語会話Ⅰ	*	2	1	
		はじめての中国語会話Ⅱ	*	2	1	
		朝鮮の言葉と文化Ⅰ	*	2	2	
		朝鮮の言葉と文化Ⅱ	*	2	2	
		中国の言葉と文化Ⅰ	*	2	2	
		中国の言葉と文化Ⅱ	*	2	2	
		ドイツの言葉と文化Ⅰ	*	2	2	
		ドイツの言葉と文化Ⅱ	*	2	2	
		スペインの言葉と文化Ⅰ	*	2	2	
		スペインの言葉と文化Ⅱ	*	2	2	
	フランスの言葉と文化Ⅰ	*	2	2		
	フランスの言葉と文化Ⅱ	*	2	2		
	英語・中国語コース科目		世界の言葉と人々		2	1
			言語学概論Ⅰ	*	2	1
			言語学概論Ⅱ	*	2	2
			英米文学概論	*	2	1
			イギリス文学史	*	2	2
			アメリカ文学史	*	2	2
			英語学概論Ⅰ	*	2	2
			英語学概論Ⅱ	*	2	2
			英語史	*	2	2
			英米映画と演劇Ⅰ	*	2	3
			英米映画と演劇Ⅱ	*	2	3
			英語学特講AⅠ	*	2	3
			英語学特講AⅡ	*	2	3
			英語学特講BⅠ	*	2	3
			英語学特講BⅡ	*	2	3
音声学Ⅰ			*	2	3	
音声学Ⅱ			*	2	3	
英米文学特講Ⅰ（作品講読）	*	2	4			
英米文学特講Ⅱ（文学理論）	*	2	4			
英語通訳学	*	2	4			
英語翻訳演習	*	2	4			
中国文学史	*	2	2			
中国の文化と社会	*	2	2			
中国語文法論Ⅰ	*	2	3			
中国語文法論Ⅱ	*	2	3			
中国語学特講AⅠ	*	2	3			
中国語学特講AⅡ	*	2	3			
中国語学特講BⅠ	*	2	3			

科目区分	授 業 科 目	単位数	配当年次	
国際 教 養 科 目 群	英語・中国語コース科目	中国語学特講BⅡ *	2 3	
		中国語テーマ研究Ⅰ *	2 3	
		中国語テーマ研究Ⅱ *	2 3	
		中国語翻訳通訳演習Ⅰ *	2 3	
		中国語翻訳通訳演習Ⅱ *	2 3	
		中国文学特講Ⅰ *	2 3	
		中国文学特講Ⅱ *	2 3	
		日本語教育学入門 *	2 2	
		日本語学入門 *	2 2	
		日本語教育学概論 *	2 3	
		日本語教育学特講Ⅰ *	2 3	
		日本語教育学特講Ⅱ *	2 4	
		日本語学概論 *	2 3	
		日本語学特講Ⅰ *	2 3	
		日本語学特講Ⅱ *	2 4	
		通訳翻訳演習Ⅰ *	2 3	
		通訳翻訳演習Ⅱ *	2 3	
		通訳翻訳演習Ⅲ *	2 4	
		通訳翻訳演習Ⅳ *	2 4	
		文化・観光コース科目	日本文化史	2 1
			観光学入門 *	2 1
			観光地理学 *	2 2
			地域文化と観光 *	2 3
			観光資源学Ⅰ *	2 2
			観光資源学Ⅱ *	2 2
			観光資源学Ⅲ *	2 3
			観光資源学Ⅳ *	2 3
			文化施設論 *	2 3
			文化政策論 *	2 4
			観光文化リサーチ論 *	2 2
			観光資源リサーチ演習 *	2 2
			観光ビジネス演習 *	2 3
			観光文化計画演習 *	2 3
			文化政策演習 *	2 4
		国際関係コース科目	国際関係学入門	2 1
			国際関係史 *	2 1
		国際社会論 *	2 2	
		現代ヨーロッパ論 *	2 2	
		現代東アジア論 *	2 2	
		現代アメリカ論 *	2 3	
		朝鮮半島研究 *	2 3	
		EU研究 *	2 3	
		中国研究 *	2 3	
		国際協力論 *	2 3	
		国際関係学 *	2 3	
		国際関係学演習 *	2 2	
		日米関係論 *	2 3	
		日中関係論 *	2 4	
		国際関係学総合演習 *	2 4	

科目区分	授 業 科 目	単位数	配当年次
国際 マネジ メント 科目群	経済学入門 *	2	1
	経営学入門 *	2	1
	簿記入門 *	2	1
	法学入門Ⅰ *	2	1
	法学入門Ⅱ *	2	1
	スポーツ科学 *	2	1
	統計学 *	2	1
	社会学 *	2	1
	政治学Ⅰ *	2	2
	政治学Ⅱ *	2	2
	行政学 *	2	2
	ミクロ経済学 *	2	1
	マクロ経済学 *	2	2
	マーケティング入門 *	2	1
	中級簿記論 *	2	1
	上級簿記論 *	2	2
	工業簿記論 *	2	2
	人事労務管理論 *	2	3
	地場産業論 *	2	3
	憲法Ⅰ *	2	2
	憲法Ⅱ *	2	2
	民法（契約） *	2	1
	民法（総則） *	2	2
教職 に 関 す る 科 目	教職論 *	2	1
	教育学概論 *	2	2
	教育心理学概論Ⅰ *	2	2
	教育心理学概論Ⅱ *	2	2
	教育制度論 *	2	3
	英語科教育法Ⅰ *	2	2
	英語科教育法Ⅱ *	2	2
	英語科教育法Ⅲ *	2	3
	英語科教育法Ⅳ *	2	3
	道徳教育論 *	2	3
	特別活動論 *	2	3
	教育方法論 *	2	3
	生徒指導・進路指導論 *	2	3
	教育相談 *	2	2
	教育実習事前事後指導 *	1	4
	教育実習Ⅰ *	2	4
	教育実習Ⅱ *	2	4
	教育実践演習（中・高） *	2	4

備考1. \*は選択科目、☆は自由科目を示す。

備考2. 国際教養学科に英語・中国語コース、日本語コース、文化・観光コース、国際関係コースを設置する。

【国際マネジメント学科】

科目区分	授 業 科 目	単位数	配当年次		
学部共通基礎教育科目群	演習科目	基礎ゼミナール	4	1	
		ゼミナールⅠ	4	2	
		ゼミナールⅡ	4	3	
		卒業研究	4	4	
	科創未来 目造来	未来創造論Ⅰ	2	1	
		未来創造論Ⅱ	2	1	
	健康科目	スポーツⅠ	*	1	1
		スポーツⅡ	*	1	1
		スポーツⅢ	*	1	2
		スポーツⅣ	*	1	2
	一般教養科目	哲学	*	2	1
		倫理学	*	2	1
		自然科学概論	*	2	1
		生命科学	*	2	2
		地誌	*	2	2
		人文地理概論Ⅰ	*	2	3
		人文地理概論Ⅱ	*	2	3
		自然地理Ⅰ	*	2	2
		自然地理Ⅱ	*	2	2
		環境学	*	2	3
		日本史	*	2	1
		日本近代史	*	2	2
		日本現代史	*	2	2
	東洋史	*	2	3	
	西洋史	*	2	3	
	情報科目	情報処理入門		2	1
		情報と社会	*	2	1
		情報処理基礎	*	2	2
		情報とコンピュータ	*	2	2
		情報処理応用	*	2	2
		ITマネジメント論	*	2	2
	キャリア科目	キャリア基礎演習Ⅰ	*	1	1
		キャリア基礎演習Ⅱ	*	1	1
文章理解Ⅰ		*	1	2	
文章理解Ⅱ		*	1	2	
文章理解Ⅲ		☆	1	3	
キャリア演習AⅠ		☆	1	2	
キャリア演習AⅡ		☆	1	2	
キャリア演習AⅢ		☆	1	3	
キャリア演習AⅣ		☆	1	3	
キャリア演習BⅠ		☆	1	2	
キャリア演習BⅡ		☆	1	2	
キャリア演習BⅢ		☆	1	3	
法学演習Ⅰ		☆	1	1	
法学演習Ⅱ		☆	1	2	
法学演習Ⅲ		☆	1	2	
法学演習Ⅳ		☆	1	3	
法学演習Ⅴ		☆	1	3	
法学演習ⅥA		☆	1	4	
法学演習ⅥB		☆	1	4	
法学演習ⅥC		☆	1	4	
ライフプランニング論	*	2	1		

科目区分	授 業 科 目	単位数	配当年次		
学部共通基礎教育科目群	キャリア科目	コミュニケーション論 *	2	2	
		現代社会と職業 *	2	2	
		能力開発論（インターンシップ） *	2	3	
		コミュニケーション演習 *	2	3	
		旅行業務Ⅰ（国内） ☆	2	2	
		旅行業務Ⅱ（総合） ☆	2	3	
	シティカレッジ科目	シティカレッジ科目Ⅰ *	1		
		シティカレッジ科目Ⅱ *	1		
		シティカレッジ科目Ⅲ *	1		
		シティカレッジ科目Ⅳ *	1		
		シティカレッジ科目Ⅴ *	1		
		シティカレッジ科目Ⅵ *	1		
		シティカレッジ科目Ⅶ *	1		
		シティカレッジ科目Ⅷ *	1		
		シティカレッジ科目Ⅸ *	1		
		シティカレッジ科目Ⅹ *	1		
		シティカレッジ科目Ⅺ *	1		
		シティカレッジ科目Ⅻ *	1		
	海外留学科目	短期海外研修A *	1	1・2・3・4	
		短期海外研修B *	1	1・2・3・4	
		短期海外研修C *	1	1・2・3・4	
		短期海外研修D *	1	1・2・3・4	
		語学研修A *	2	1・2・3・4	
		語学研修B *	2	1・2・3・4	
		語学研修C *	2	1・2・3・4	
		語学研修D *	2	1・2・3・4	
		海外研修 *	2	1・2・3・4	
		海外留学A *	6	1・2・3・4	
		海外留学B *	6	1・2・3・4	
		海外留学C *	6	1・2・3・4	
		海外留学D *	6	1・2・3・4	
	外国語科目群	英 語	リサーチプロジェクトⅠ *	2	1
			リサーチプロジェクトⅡ *	2	1
リサーチプロジェクトⅢ *			2	2	
リサーチプロジェクトⅣ *			2	2	
資格英語Ⅰ *			1	1	
資格英語Ⅱ *			1	1	
資格英語Ⅲ *			1	2	
資格英語Ⅳ *			1	2	
資格英語Ⅴ *			1	3・4	
資格英語Ⅵ *			1	3・4	
イングリッシュコミュニケーションⅠ *			1	2	
イングリッシュコミュニケーションⅡ *			1	2	
中 国 語			基礎中国語Ⅰ *	1	1
			基礎中国語Ⅱ *	1	1
		基礎中国語Ⅲ *	1	1	
		基礎中国語Ⅳ *	1	1	
		基礎中国語Ⅴ *	1	1	
		基礎中国語Ⅵ *	1	1	
中級中国語Ⅰ *		1	2		
中級中国語Ⅱ *		1	2		
中級中国語Ⅲ *	1	2			
中級中国語Ⅳ *	1	2			

科目区分	授 業 科 目	単位数	配当年次		
外国語科目群	中国語	中級中国語Ⅴ	*	1	2
		中級中国語Ⅵ	*	1	2
		アドバンス中国語Ⅰ	*	1	3
		アドバンス中国語Ⅱ	*	1	3
		アドバンス中国語Ⅲ	*	1	3
		アドバンス中国語Ⅳ	*	1	3
		アドバンス中国語Ⅴ	*	1	4
		アドバンス中国語Ⅵ	*	1	4
	アドバンス中国語Ⅶ	*	1	4	
	アドバンス中国語Ⅷ	*	1	4	
	日本語	日本語Ⅰ	*	1	1
		日本語Ⅱ	*	1	1
		日本語Ⅲ	*	1	1
		日本語Ⅳ	*	1	1
		日本語Ⅴ	*	1	2
		日本語Ⅵ	*	1	2
		日本語Ⅶ	*	1	2
		日本語Ⅷ	*	1	2
		資格日本語Ⅰ	*	1	1
		資格日本語Ⅱ	*	1	1
		資格日本語Ⅲ	*	1	2
		資格日本語Ⅳ	*	1	2
		上級資格日本語Ⅰ	*	1	3
		上級資格日本語Ⅱ	*	1	3
		上級資格日本語Ⅲ	*	1	3
		上級資格日本語Ⅳ	*	1	3
		上級資格日本語Ⅴ	*	1	4
		上級資格日本語Ⅵ	*	1	4
上級資格日本語Ⅶ		*	1	4	
上級資格日本語Ⅷ		*	1	4	
日本語演習Ⅰ	*	1	3		
日本語演習Ⅱ	*	1	3		
日本語演習Ⅲ	*	1	3		
日本語演習Ⅳ	*	1	3		
日本語演習Ⅴ	*	1	3		
日本語演習Ⅵ	*	1	3		
日本語演習Ⅶ	*	1	3		
日本語演習Ⅷ	*	1	3		
スポーツ専門実技科目群	教職(保健体育)科目	スポーツ実習Ⅰ	*	1	1
		スポーツ実習Ⅱ	*	1	1
		スポーツ実習Ⅲ	*	1	1
		スポーツ実習Ⅳ	*	1	2
		スポーツ実習Ⅴ	*	1	2
		スポーツ実習Ⅵ	*	1	2
		スポーツ実習Ⅶ	*	1	2
		スポーツ実習Ⅷ	*	1	3
		スポーツ実習Ⅸ	*	1	3
	サッカー指定科目	競技スポーツ概説	*	2	1
		競技スポーツ実習Ⅰ	*	1	1
		競技スポーツ実習Ⅱ	*	1	1
		競技スポーツ実習Ⅲ	*	1	2
		競技スポーツ実習Ⅳ	*	1	2
		コーチング演習Ⅰ	*	2	2

科目区分	授 業 科 目	単位数	配当年次		
科目群 専門実技	サツカ 指定科目 コーチング演習Ⅲ	*	2	3	
	コーチング演習Ⅳ	*	2	3	
	指導実践Ⅰ	*	2	4	
国際 マネ ジメ ント 科 目 群	総 合 科 目	国際マネジメント入門	2	1	
		統計学	*	2	1
		政治学Ⅰ	*	2	2
		政治学Ⅱ	*	2	2
		行政学	*	2	2
		社会学	*	2	1
		東アジア現代史	*	2	2
		アメリカ現代史	*	2	3
		ヨーロッパ現代史	*	2	2
	経 済 コ ー ス 科 目	経済学入門	2	2	1
		ミクロ経済学	*	2	1
		マクロ経済学	*	2	2
		日本経済論	*	2	2
		経済学史	*	2	1
		日本経済史	*	2	2
		国際経済学Ⅰ	*	2	2
		国際経済学Ⅱ	*	2	2
		東アジア経済論	*	2	3
		欧米経済論	*	2	3
		リスクマネジメント論	*	2	4
		経済政策	*	2	4
		金融論	*	2	2
		国際金融論	*	2	3
	財政学	*	2	2	
	経 営 ・ 会 計 コ ー ス 科 目	経営学入門	2	2	1
		簿記入門	2	2	1
		マーケティング入門	*	2	1
		経営学概論	*	2	2
		マーケティング論	*	2	2
		中級簿記論	*	2	1
		上級簿記論	*	2	2
		工業簿記論	*	2	2
		財務会計論	*	2	2
管理会計論		*	2	2	
税務会計論	*	2	3		
国際会計論	*	2	4		
監査論	*	2	4		
流通システム論	*	2	2		
組織戦略論	*	2	2		
組織行動論	*	2	3		
人事労務管理論	*	2	3		
消費者行動論	*	2	3		
地場産業論	*	2	3		
貿易実務	*	2	4		



科目区分	授 業 科 目	単位数	配当年次		
国 際 マ ネ ジ メ ン ト 科 目 群	法 律 コ ー ス 科 目	法学入門Ⅰ	2	1	
		法学入門Ⅱ	*	2	1
		憲法Ⅰ	*	2	2
		憲法Ⅱ	*	2	2
		民法（契約）	*	2	1
		民法（総則）	*	2	2
		民法（債権Ⅰ）	*	2	2
		民法（債権Ⅱ）	*	2	3
		民法（物権）	*	2	3
		刑法Ⅰ	*	2	2
		刑法Ⅱ	*	2	2
		行政法Ⅰ	*	2	2
		行政法Ⅱ	*	2	2
		会社法	*	2	3
		労働法Ⅰ	*	2	3
		労働法Ⅱ	*	2	3
		訴訟法	*	2	3
		知的財産法	*	2	4
	国際取引法	*	2	4	
	ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト コ ー ス 科 目	スポーツ科学	*	2	1
		健康管理学	*	2	1
		運動生理学	*	2	1
		運動動作学	*	2	2
		体育原理	*	2	2
		スポーツ医学	*	2	2
		トレーニング論	*	2	2
		スポーツ法学研究	*	2	2
		運動心理学	*	2	3
		スポーツ社会学	*	2	3
		スポーツマネジメント	*	2	3
		コーチング学	*	2	3
		アスリートサポート演習	*	2	3
		コーチング演習サッカーⅡ	*	2	2
		指導実践Ⅱ	*	2	4
		コーチング演習柔道Ⅰ	*	2	3
		コーチング演習柔道Ⅱ	*	2	3
		スポーツ栄養学	*	2	2
		学校保健	*	2	3
救急処置		*	2	3	
性教育		*	2	3	
衛生学		*	2	3	
公衆衛生学		*	2	3	
生理学		*	2	2	
発育発達論Ⅰ		*	2	3	
発育発達論Ⅱ		*	2	3	
I T 科 目		情報処理論Ⅰ	*	4	3・4
	情報処理論Ⅱ	*	4	3・4	
	情報処理論Ⅲ	*	4	3・4	
	システム管理Ⅰ	*	2	3・4	
	システム管理Ⅱ	*	2	3・4	
	ネットワーク論Ⅰ	*	2	3・4	
	ネットワーク論Ⅱ	*	2	3・4	
Cプログラミング上級	*	2	3・4		

科目区分		授 業 科 目	単位数	配当年次
国際マネジメント科目群	I T 科 目	Javaプログラミング中級 *	2	3・4
		Javaプログラミング上級 *	2	3・4
		データベース論Ⅰ *	2	3・4
		データベース論Ⅱ *	2	3・4
		スマートフォンアプリ開発 *	2	3・4
		情報セキュリティ論 *	2	3・4
国際教養科目群		世界の言葉と人々 *	2	1
		はじめての中国語会話Ⅰ *	2	1
		はじめての中国語会話Ⅱ *	2	1
		言語学概論Ⅰ *	2	1
		言語学概論Ⅱ *	2	2
		英米文学概論 *	2	1
		宗教学入門 *	2	1
		芸術学 *	2	1
		日本文化史 *	2	1
		日本の伝統芸術 *	2	2
		観光学入門 *	2	1
		観光地理学 *	2	2
		国際関係学入門 *	2	1
		国際関係史 *	2	1
	国際社会論 *	2	2	
教職に関する科目		教職論 *	2	1
		教育学概論 *	2	2
		教育心理学概論Ⅰ *	2	2
		教育心理学概論Ⅱ *	2	2
		教育制度論 *	2	3
		中学社会科教育法Ⅰ *	2	2
		中学社会科教育法Ⅱ *	2	2
		中学・高校地理歴史教育法Ⅰ *	2	3
		中学・高校地理歴史教育法Ⅱ *	2	3
		中学・高校公民教育法Ⅰ *	2	3
		中学・高校公民教育法Ⅱ *	2	3
		保健体育科教育法Ⅰ *	2	2
		保健体育科教育法Ⅱ *	2	2
		保健体育科教育法Ⅲ *	2	3
		保健体育科教育法Ⅳ *	2	3
		道德教育論 *	2	3
		特別活動論 *	2	3
		教育方法論 *	2	3
		生徒指導・進路指導論 *	2	3
		教育相談 *	2	2
		教育実習事前事後指導 *	1	4
		教育実習Ⅰ *	2	4
		教育実習Ⅱ *	2	4
	教育実践演習（中・高） *	2	4	

備考1. \*は選択科目、☆は自由科目を示す。

備考2. 国際マネジメント学科に経済コース、経営・会計コース、法律コース、スポーツマネジメントコースを設置する。

### 3. カリキュラム・マップ

## 未来創造学部 国際教養学科 カリキュラム・マップ

未来創造学部国際教養学科の人材養成の目的	
【未来創造学部】	グローバルな視野と異文化への深い理解、高いコミュニケーション力により、世界の人々と自由闊達に意見交換し、現代社会に生起するさまざまな課題に的確に対応し、あるべき未来を自ら創造できる人間力あふれる人材を養成する。
【国際教養学科】	英語又は、中国語のコミュニケーション力を身につけ、国際感覚と豊かな教養を備えた、地域社会と国際社会で活躍できる人材を養成する。

学修成果	
【大学】	1) 修得した知識や知見により、自らが課題を発見し解決する力 2) 社会で求められるコミュニケーション力と的確な判断力 3) 自らを律し、他者と協調して行動でき、社会の発展に寄与できる力
【未来創造学部国際教養学科】	1) 豊かな教養を修め、グローバルな視点に立って国際社会で主体的に行動できる学生 2) 英語または中国語について、専門的かつ実践的な知識と運用能力を備えている学生 3) 社会において主体的に様々な問題を発見し、解決できる学生

国際教養学科 カリキュラム				国際教養学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
				大学のDP			国際教養学科のDP		
ナンバリング	科目名	科目区分	配当年次	1) 修得した知識や知見により、自らが課題を発見し解決する力	2) 社会で求められるコミュニケーション力と的確な判断力	3) 自らを律し、他者と協調して行動でき、社会の発展に寄与できる力	1) 豊かな教養を修め、グローバルな視点に立って国際社会で主体的に行動できる学生	2) 英語または中国語について、専門的かつ実践的な知識と運用能力を備えている学生	3) 社会において主体的に様々な問題を発見し、解決できる学生
BS101	基礎ゼミナール	必修	1	△	○	○	◎		○
SBL201	ゼミナールⅠ	必修	2	◎	○	○			◎
SBL301	ゼミナールⅡ	必修	3	◎	○	○			◎
SAL401	卒業研究	必修	4	◎	○	○			◎
BS102	未来創造論Ⅰ	必修	1		△	○	◎		○
BS103	未来創造論Ⅱ	必修	1		△	○	◎		○
BS104	スポーツⅠ	選択	1			△			
BS105	スポーツⅡ	選択	1			△			
BS106	スポーツⅢ	選択	2			△			
BS107	スポーツⅣ	選択	2			△			
CS202	哲学	選択	1	△			○		
BS108	倫理学	選択	1	△			○		
BS109	自然科学概論	選択	1	△			○		
BS201	生命科学	選択	2	△			○		
BS202	地誌	選択	2	○			○		
BS301	人文地理概論Ⅰ	選択	3	○			○		
BS302	人文地理概論Ⅱ	選択	3	○			○		
BS203	自然地理Ⅰ	選択	2	○			○		
BS204	自然地理Ⅱ	選択	2	○			○		
BS303	環境学	選択	3	○					
CS205	日本史	選択	1	△			◎		
BS206	日本近代史	選択	2	△			◎		
BS207	日本現代史	選択	2	△			◎		
BS304	東洋史	選択	3	△			◎		
BS305	西洋史	選択	3	△			◎		
BS111	情報処理入門	必修	1	○					
BS112	情報と社会	選択	1	○					
BS208	情報処理基礎	選択	2	○					
BS209	情報とコンピュータ	選択	2	○					
CER221	情報処理応用	選択	2	○					
CER222	ITマネジメント論	選択	2	○					
CER101	キャリア基礎演習Ⅰ	選択	1	△	○				△
CER102	キャリア基礎演習Ⅱ	選択	1	△	○				△
CER201	文章理解Ⅰ	選択	2	△	○				△
CER202	文章理解Ⅱ	選択	2	△	○				△
CER301	文章理解Ⅲ	自由	3	△	○				△
CER203	キャリア演習AⅠ	自由	2	△	○				△
CER204	キャリア演習AⅡ	自由	2	△	○				△
CER302	キャリア演習AⅢ	自由	3	△	○				△
CER303	キャリア演習AⅣ	自由	3	△	○				△
CER205	キャリア演習BⅠ	自由	2	△	○				△
CER206	キャリア演習BⅡ	自由	2	△	○				△

国際教養学科 カリキュラム				国際教養学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
				大学のDP			国際教養学科のDP		
ナンバリング	科目名	科目区分	配当年次	1) 修得した知識や知見により、自らが課題を発見し解決する力	2) 社会で求められるコミュニケーション力と的確な判断力	3) 自らを律し、他者と協調して行動でき、社会の発展に寄与できる力	1) 豊かな教養を修め、グローバルな視点に立って国際社会で主体的に行動できる学生	2) 英語または中国語について、専門的かつ実践的な知識と運用能力を備えている学生	3) 社会において主体的に様々な問題を発見し、解決できる学生
CER304	キャリア演習BⅢ	自由	3	△	○				△
CER131	法学演習Ⅰ	自由	1	○					
CER231	法学演習Ⅱ	自由	2	○					
CER232	法学演習Ⅲ	自由	2	○					
CER331	法学演習Ⅳ	自由	3	○					
CER332	法学演習Ⅴ	自由	3	○					
CER431	法学演習ⅥA	自由	4	○					
CER432	法学演習ⅥB	自由	4	○					
CER433	法学演習ⅥC	自由	4	○					
CER111	ライフプランニング論	選択	1	○	△				○
CER211	コミュニケーション論	選択	2	○	◎				△
CER212	現代社会と職業	選択	2	○	△				△
CER311	能力開発論 (インターンシップ)	選択	3	◎	◎				△
CER312	コミュニケーション演習	選択	3	○	◎				△
CER241	旅行業務Ⅰ (国内)	自由	2	○					
CER341	旅行業務Ⅱ (総合)	自由	3	○					
	シティカレッジ科目Ⅰ	選択							
	シティカレッジ科目Ⅱ	選択							
	シティカレッジ科目Ⅲ	選択							
	シティカレッジ科目Ⅳ	選択							
	シティカレッジ科目Ⅴ	選択							
	シティカレッジ科目Ⅵ	選択							
	シティカレッジ科目Ⅶ	選択							
	シティカレッジ科目Ⅷ	選択							
	シティカレッジ科目Ⅸ	選択							
	シティカレッジ科目Ⅹ	選択							
	シティカレッジ科目ⅩⅠ	選択							
	シティカレッジ科目ⅩⅡ	選択							
SA101	短期海外研修A	選択	1~4		○		◎		○
SA102	短期海外研修B	選択	1~4		○		◎		○
SA103	短期海外研修C	選択	1~4		○		◎		○
SA104	短期海外研修D	選択	1~4		○		◎		○
SA201	語学研修A	選択	1~4		○		◎		○
SA202	語学研修B	選択	1~4		○		◎		○
SA203	語学研修C	選択	1~4		○		◎		○
SA204	語学研修D	選択	1~4		○		◎		○
SA105	海外研修	選択	1~4		○		◎		○
SA301	海外留学A	選択	1~4		○		◎		○
SA302	海外留学B	選択	1~4		○		◎		○
SA401	海外留学C	選択	1~4		○		◎		○
SA402	海外留学D	選択	1~4		○		◎		○
ELL101	リサーチプロジェクトⅠ	選択	1		○		◎		
ELL102	リサーチプロジェクトⅡ	選択	1		○		◎		
ELL201	リサーチプロジェクトⅢ	選択	2		○		◎		
ELL202	リサーチプロジェクトⅣ	選択	2		○		◎		
ELL301	リサーチプロジェクトⅤ	選択	3		○		◎		
ELL302	リサーチプロジェクトⅥ	選択	3		○		◎		
ELL401	リサーチプロジェクトⅦ	選択	4		○		◎		
ELL402	リサーチプロジェクトⅧ	選択	4		○		◎		
ELL103	イングリッシュコミュニケーションⅠ	選択	1		○		◎		
ELL104	イングリッシュコミュニケーションⅡ	選択	1		○		◎		
ELL203	イングリッシュコミュニケーションⅢ	選択	2		○		◎		
ELL204	イングリッシュコミュニケーションⅣ	選択	2		○		◎		
ELL303	イングリッシュコミュニケーションⅤ	選択	3		○		◎		
ELL304	イングリッシュコミュニケーションⅥ	選択	3		○		◎		
ELL105	資格英語Ⅰ	選択	1		○		◎		
ELL106	資格英語Ⅱ	選択	1		○		◎		
ELL205	資格英語Ⅲ	選択	2		○		◎		
ELL206	資格英語Ⅳ	選択	2		○		◎		

国際教養学科 カリキュラム				国際教養学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
				大学のDP			国際教養学科のDP		
ナンバリング	科目名	科目区分	配当年次	1) 修得した知識や知見により、自らが課題を発見し解決する力	2) 社会で求められるコミュニケーション力と的確な判断力	3) 自らを律し、他者と協調して行動でき、社会の発展に寄与できる力	1) 豊かな教養を修め、グローバルな視点に立って国際社会で主体的に行動できる学生	2) 英語または中国語について、専門的かつ実践的な知識と運用能力を備えている学生	3) 社会において主体的に様々な問題を発見し、解決できる学生
ELL305	資格英語V	選択	3		○			◎	
ELL306	資格英語VI	選択	3		○			◎	
ELL207	英語文法学演習 I	選択	2		○			◎	
ELL208	英語文法学演習 II	選択	2		○			◎	
CLL101	中国語 I	選択	1		○			◎	
CLL102	中国語 II	選択	1		○			◎	
CLL103	中国語 III	選択	1		○			◎	
CLL104	中国語 IV	選択	1		○			◎	
CLL201	中国語 V	選択	2		○			◎	
CLL202	中国語 VI	選択	2		○			◎	
CLL105	中国語会話 I	選択	1		○			◎	
CLL106	中国語会話 II	選択	1		○			◎	
CLL203	中国語会話 III	選択	2		○			◎	
CLL204	中国語会話 IV	選択	2		○			◎	
CLL301	中国語総合演習 I	選択	3		○			◎	
CLL302	中国語総合演習 II	選択	3		○			◎	
CLL205	中国語作文 I	選択	2		○			◎	
CLL206	中国語作文 II	選択	2		○			◎	
CLL207	中国語文法基礎 I	選択	2		○			◎	
CLL208	中国語文法基礎 II	選択	2		○			◎	
CLL303	中国語コミュニケーション I	選択	3		○			◎	
CLL304	中国語コミュニケーション II	選択	3		○			◎	
CLL305	資格中国語 I	選択	3		○			◎	
CLL306	資格中国語 II	選択	3		○			◎	
CLL401	資格中国語 III	選択	4		○			◎	
CLL402	資格中国語 IV	選択	4		○			◎	
CLL403	中国語表現法 I	選択	4		○			◎	
CLL404	中国語表現法 II	選択	4		○			◎	
JLS101	日本語 I	選択	1		○				
JLS102	日本語 II	選択	1		○				
JLS103	日本語 III	選択	1		○				
JLS104	日本語 IV	選択	1		○				
JLS201	日本語 V	選択	2		○				
JLS202	日本語 VI	選択	2		○				
JLS203	日本語 VII	選択	2		○				
JLS204	日本語 VIII	選択	2		○				
JLS401	上級日本語 I	選択	4		○				
JLS402	上級日本語 II	選択	4		○				
JLS403	上級日本語 III	選択	4		○				
JLS404	上級日本語 IV	選択	4		○				
JLS105	日本語演習 I	選択	2		○				
JLS106	日本語演習 II	選択	2		○				
JLS107	日本語演習 III	選択	2		○				
JLS108	日本語演習 IV	選択	2		○				
JLS109	日本語演習 V	選択	2		○				
JLS110	日本語演習 VI	選択	2		○				
JLS111	日本語演習 VII	選択	2		○				
JLS112	日本語演習 VIII	選択	2		○				
JLS113	資格日本語 I	選択	1		○				
JLS114	資格日本語 II	選択	1		○				
JLS205	資格日本語 III	選択	2		○				
JLS206	資格日本語 IV	選択	2		○				
JLS301	上級資格日本語 I	選択	3		○				
JLS302	上級資格日本語 II	選択	3		○				
JLS303	上級資格日本語 III	選択	3		○				
JLS304	上級資格日本語 IV	選択	3		○				
JLS405	上級資格日本語 V	選択	4		○				
JLS406	上級資格日本語 VI	選択	4		○				
JLS407	上級資格日本語 VII	選択	4		○				

国際教養学科 カリキュラム				国際教養学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
ナンバリング	科目名	科目区分	配当年次	大学のDP			国際教養学科のDP		
				1) 修得した知識や知見により、自らが課題を発見し解決する力	2) 社会で求められるコミュニケーション力と確かな判断力	3) 自らを律し、他者と協調して行動でき、社会の発展に寄与できる力	1) 豊かな教養を修め、グローバルな視点に立って国際社会で主体的に行動できる学生	2) 英語または中国語について、専門的かつ実践的な知識と運用能力を備えている学生	3) 社会において主体的に様々な問題を発見し、解決できる学生
JLS408	上級資格日本語Ⅷ	選択	4		○				
SBL101	国際教養論	必修	1		○	△	◎		○
SBL102	宗教学入門	必修	1	△		○	○		
SBL103	芸術学	選択	1	△		○	○		
SBL202	日本の伝統芸術	選択	2	△		○	○		
SBL203	金沢の文化	選択	2	△		○	○		
SBL302	ヨーロッパの文化	選択	3	△		○	○		
SBL303	アメリカの文化	選択	3	△		○	○		
CHNL101	はじめての中国語会話Ⅰ	選択	1		○		○	○	
CHNL102	はじめての中国語会話Ⅱ	選択	1		○		○	○	
OTHL203	朝鮮の言葉と文化Ⅰ	選択	2		○		○		
OTHL204	朝鮮の言葉と文化Ⅱ	選択	2		○		○		
OTHL205	中国の言葉と文化Ⅰ	選択	2		○		○	○	
OTHL206	中国の言葉と文化Ⅱ	選択	2		○		○	○	
OTHL207	ドイツの言葉と文化Ⅰ	選択	2		○		○		
OTHL208	ドイツの言葉と文化Ⅱ	選択	2		○		○		
OTHL209	スペインの言葉と文化Ⅰ	選択	2		○		○		
OTHL210	スペインの言葉と文化Ⅱ	選択	2		○		○		
OTHL211	フランスの言葉と文化Ⅰ	選択	2		○		○		
OTHL212	フランスの言葉と文化Ⅱ	選択	2		○		○		
SBL105	世界の言葉と人々	必修	1	△	○		◎		
SBL106	言語学概論Ⅰ	選択	1	○				◎	
SBL204	言語学概論Ⅱ	選択	2	○				◎	
LIT101	英米文学概論	選択	1	○				◎	
LIT201	イギリス文学史	選択	2	○			○	△	
LIT202	アメリカ文学史	選択	2	○			○	△	
ENGL201	英語学概論Ⅰ	選択	2	○			△	◎	
ENGL202	英語学概論Ⅱ	選択	2	○			△	◎	
ENGL203	英語史	選択	2	○			○	◎	
LIT301	英米映画と演劇Ⅰ	選択	3	△			○	△	
LIT302	英米映画と演劇Ⅱ	選択	3	△			○	△	
ENGL301	英語学特講AⅠ	選択	3	○			△	◎	
ENGL302	英語学特講AⅡ	選択	3	○			△	◎	
ENGL303	英語学特講BⅠ	選択	3	○			△	◎	
ENGL304	英語学特講BⅡ	選択	3	○			△	◎	
ENGL305	音声学Ⅰ	選択	3	○			△	◎	
ENGL306	音声学Ⅱ	選択	3	○			△	◎	
LIT401	英米文学特講Ⅰ(作品講読)	選択	4	○			△	◎	
LIT402	英米文学特講Ⅱ(文学理論)	選択	4	○			△	◎	
ENGL401	英語通訳学	選択	4	○			△	◎	
ENGL402	英語翻訳演習	選択	4	○			△	◎	
LIT203	中国文学史	選択	2	○			○	△	
SBL203	中国の文化と社会	選択	2	○			○	△	
CHNL301	中国語文法論Ⅰ	選択	3	○			△	◎	
CHNL302	中国語文法論Ⅱ	選択	3	○			△	◎	
CHNL303	中国語学特講AⅠ	選択	3	○			△	◎	
CHNL304	中国語学特講AⅡ	選択	3	○			△	◎	
CHNL305	中国語学特講BⅠ	選択	3	○			△	◎	
CHNL306	中国語学特講BⅡ	選択	3	○			△	◎	
CHNL401	中国語テーマ研究Ⅰ	選択	4	○			△	◎	
CHNL402	中国語テーマ研究Ⅱ	選択	4	○			△	◎	
CHNL403	中国語翻訳通訳演習Ⅰ	選択	4	○			△	◎	
CHNL404	中国語翻訳通訳演習Ⅱ	選択	4	○			△	◎	
LIT403	中国文学特講Ⅰ	選択	4	○			△	◎	
LIT404	中国文学特講Ⅱ	選択	4	○			△	◎	
JPNL201	日本語教育学入門	選択	2	○	△		△		
JPNL202	日本語学入門	選択	2	○	△		△		
JPNL301	日本語教育学概論	選択	3	○	△		△		
JPNL302	日本語教育学特講Ⅰ	選択	3	○	△		△		

国際教養学科 カリキュラム				国際教養学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
				大学のDP			国際教養学科のDP		
ナンバリング	科目名	科目区分	配当年次	1) 修得した知識や知見により、自らが課題を発見し解決する力	2) 社会で求められるコミュニケーション力と的確な判断力	3) 自らを律し、他者と協調して行動でき、社会の発展に寄与できる力	1) 豊かな教養を修め、グローバルな視点に立って国際社会で主体的に行動できる学生	2) 英語または中国語について、専門的かつ実践的な知識と運用能力を備えている学生	3) 社会において主体的に様々な問題を発見し、解決できる学生
JPNL401	日本語教育学特講Ⅱ	選択	4	○	△		△		
JPNL303	日本語学概論	選択	3	○	△		△		
JPNL304	日本語学特講Ⅰ	選択	3	○	△		△		
JPNL402	日本語学特講Ⅱ	選択	4	○	△		△		
JPNL305	通訳翻訳演習Ⅰ	選択	3	○	△		△		
JPNL306	通訳翻訳演習Ⅱ	選択	3	○	△		△		
JPNL403	通訳翻訳演習Ⅲ	選択	4	○	△		△		
JPNL404	通訳翻訳演習Ⅳ	選択	4	○	△		△		
SBL107	日本文化史	必修	1	○			△		
SBL108	観光学入門	選択	1	○			△		
CT201	観光地理学	選択	2	○			△		
CT301	地域文化と観光	選択	3	○			△		
CT202	観光資源学Ⅰ	選択	2	○			△		
CT203	観光資源学Ⅱ	選択	2	○			△		
CT302	観光資源学Ⅲ	選択	3	○			△		
CT303	観光資源学Ⅳ	選択	3	○			△		
CT304	文化施設論	選択	3	○			△		
CT401	文化政策論	選択	4	○			△		
CT204	観光文化リサーチ論	選択	2	○			△		
CT205	観光資源リサーチ演習	選択	2	○			△		○
CT305	観光ビジネス演習	選択	3	○		△	△		○
CT306	観光文化計画演習	選択	3	○		△	△		○
CT402	文化政策演習	選択	4	○		△	△		○
SBL109	国際関係学入門	必修	1	○			◎		
SBL110	国際関係史	選択	1	○			◎		
IR201	国際社会論	選択	2	○			◎		
IR202	現代ヨーロッパ論	選択	2	○			◎		
IR203	現代東アジア論	選択	2	○			◎		
IR301	現代アメリカ論	選択	3	○			◎		
IR302	朝鮮半島研究	選択	3	○			◎		
IR303	EU研究	選択	3	○			◎		
IR304	中国研究	選択	3	○			◎		
IR305	国際協力論	選択	3	○			◎		
IR306	国際関係学	選択	3	○			◎		
IR204	国際関係学演習	選択	2	○			◎		○
IR307	日米関係論	選択	3	○			◎		
IR401	日中関係論	選択	4	○			◎		
IR402	国際関係学総合演習	選択	4	○			◎		○
SBM104	経済学入門	選択	1	○					
SBM105	経営学入門	選択	1	○					
SBM106	簿記入門	選択	1	○					
SBM107	法学入門Ⅰ	選択	1	○					
LAW101	法学入門Ⅱ	選択	1	○					
SBM108	スポーツ科学	選択	1	○					
SBM102	統計学	選択	1	○					
SBM103	社会学	選択	1	○					
SBM202	政治学Ⅰ	選択	2	○					
SBM203	政治学Ⅱ	選択	2	○					
SBM204	行政学	選択	2	○					
EC0101	ミクロ経済学	選択	1	○					
EC0201	マクロ経済学	選択	2	○					
BUS101	マーケティング入門	選択	1	○					
BUS102	中級簿記論	選択	1	○					
BUS203	上級簿記論	選択	2	○					
BUS204	工業簿記論	選択	2	○					
BUS303	人事労務管理論	選択	3	○					
BUS305	地場産業論	選択	3	○					
LAW201	憲法Ⅰ	選択	2	○					
LAW202	憲法Ⅱ	選択	2	○					

国際教養学科 カリキュラム				国際教養学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
				大学のDP			国際教養学科のDP		
ナンバリング	科目名	科目区分	配当年次	1) 修得した知識や知見により、自らが課題を発見し解決する力	2) 社会で求められるコミュニケーション力と的確な判断力	3) 自らを律し、他者と協調して行動でき、社会の発展に寄与できる力	1) 豊かな教養を修め、グローバルな視点に立って国際社会で主体的に行動できる学生	2) 英語または中国語について、専門的かつ実践的な知識と運用能力を備えている学生	3) 社会において主体的に様々な問題を発見し、解決できる学生
LAW102	民法（契約）	選択	1	○					
LAW203	民法（総則）	選択	2	○					
TTC101	教職論	自由	1	○					
TTC201	教育学概論	自由	2	○					
TTC202	教育心理学概論Ⅰ	自由	2	○					
TTC203	教育心理学概論Ⅱ	自由	2	○					
TTC301	教育制度論	自由	3	○					
TTC204	英語科教育法Ⅰ	自由	2	○	△			○	
TTC205	英語科教育法Ⅱ	自由	2	○	△			○	
TTC302	英語科教育法Ⅲ	自由	3	○	△			○	
TTC303	英語科教育法Ⅳ	自由	3	○	△			○	
TTC304	道徳教育論	自由	3	○					
TTC305	特別活動論	自由	3	○					
TTC306	教育方法論	自由	3	○					
TTC307	生徒指導・進路指導論	自由	3	○					
TTC206	教育相談	自由	2	○					
TTC401	教育実習事前事後指導	自由	4	○					◎
TTC402	教育実習Ⅰ	自由	4	○					◎
TTC403	教育実習Ⅱ	自由	4	○					◎
TTC404	教職実践演習（中・高）	自由	4	○					◎





## 4. カリキュラム・ツリー

### 【国際教養学科】

		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学 科 基 礎	<b>必修</b>	BS101基礎セミナー BS102未来創造論Ⅰ SBL101国際教養論 BS111情報処理入門							
	<b>選択</b>	CHNL101はじめての中国語会話Ⅰ CHNL102はじめての中国語会話Ⅱ SBL103芸術学 SBL202日本の伝統芸術 OTHL203朝鮮の言葉と文化Ⅰ OTHL204朝鮮の言葉と文化Ⅱ OTHL205中国の言葉と文化Ⅰ OTHL206中国の言葉と文化Ⅱ OTHL207ドイツの言葉と文化Ⅰ OTHL208ドイツの言葉と文化Ⅱ OTHL209スペインの言葉と文化Ⅰ OTHL210スペインの言葉と文化Ⅱ OTHL211フランスの言葉と文化Ⅰ OTHL212フランスの言葉と文化Ⅱ SBL302ヨーロッパの文化 SBL303アメリカの文化							
外 国 語	<b>英語</b>	ELL101リサーチプロジェクトⅠ ELL102リサーチプロジェクトⅡ ELL201リサーチプロジェクトⅢ ELL202リサーチプロジェクトⅣ ELL301リサーチプロジェクトⅤ ELL302リサーチプロジェクトⅥ ELL401リサーチプロジェクトⅦ ELL402リサーチプロジェクトⅧ ELL103イングリッシュコミュニケーションⅠ ELL104イングリッシュコミュニケーションⅡ ELL203イングリッシュコミュニケーションⅢ ELL204イングリッシュコミュニケーションⅣ ELL303イングリッシュコミュニケーションⅤ ELL304イングリッシュコミュニケーションⅥ ELL105資格英語Ⅰ ELL106資格英語Ⅱ ELL207英語文法演習Ⅰ ELL208英語文法演習Ⅱ ELL305資格英語Ⅴ ELL306資格英語Ⅵ ELL205資格英語Ⅲ ELL206資格英語Ⅳ							
	<b>中国語</b>	CLL101中国語Ⅰ CLL102中国語Ⅱ CLL103中国語Ⅲ CLL104中国語Ⅳ CLL105中国語会話Ⅰ CLL106中国語会話Ⅱ CLL201中国語Ⅴ CLL202中国語Ⅵ CLL203中国語会話Ⅲ CLL204中国語会話Ⅳ CLL205中国語作文Ⅰ CLL206中国語作文Ⅱ CLL207中国語文法基礎Ⅰ CLL208中国語文法基礎Ⅱ CLL301中国語総合演習Ⅰ CLL302中国語総合演習Ⅱ CLL303中国語コミュニケーションⅠ CLL304中国語コミュニケーションⅡ CLL305資格中国語Ⅰ CLL306資格中国語Ⅱ CLL403中国語表現法Ⅰ CLL404中国語表現法Ⅱ CLL401資格中国語Ⅲ CLL402資格中国語Ⅳ							
	<b>日本語</b>	JLS101日本語Ⅰ JLS102日本語Ⅱ JLS103日本語Ⅲ JLS104日本語Ⅳ JLS113資格日本語Ⅰ JLS105日本語Ⅴ JLS106日本語Ⅵ JLS201日本語Ⅶ JLS202日本語Ⅷ JLS203日本語Ⅷ JLS204日本語Ⅷ JLS205資格日本語Ⅲ JLS206資格日本語Ⅳ JLS301上級資格日本語Ⅰ JLS302上級資格日本語Ⅱ JLS303上級資格日本語Ⅲ JLS304上級資格日本語Ⅳ JLS105日本語演習Ⅰ JLS106日本語演習Ⅱ JLS107日本語演習Ⅲ JLS108日本語演習Ⅳ JLS109日本語演習Ⅴ JLS110日本語演習Ⅵ JLS111日本語演習Ⅶ JLS112日本語演習Ⅷ JLS405上級資格日本語Ⅴ JLS406上級資格日本語Ⅵ JLS407上級資格日本語Ⅶ JLS408上級資格日本語Ⅷ JLS409上級日本語Ⅰ JLS410上級日本語Ⅱ JLS403上級日本語Ⅲ JLS404上級日本語Ⅳ							
専 門	<b>専門演習（必修）</b>	SBL201ゼミナールⅠ SBL301ゼミナールⅡ SAL401卒業研究							
	<b>入門（必修）</b>	SBL105世界の言葉と人々 SBL106言語学概論Ⅰ LIT101英米文学概論 SBL107日本文化史 SBL108観光学入門 SBL109国際関係学入門							
	<b>英語・中国語コース</b>	SBL204言語学概論Ⅱ LIT201アメリカ文学史 ENGL202英語学概論Ⅱ ENGL203英語史 LIT203中国文学史 SBL203中国の文化と社会 CHNL301中国語文法論Ⅰ CHNL302中国語文法論Ⅱ CHNL303中国語特講AⅠ CHNL304中国語特講AⅡ CHNL305中国語特講BⅠ LIT401英米文学特講Ⅰ（作品講読） ENGL401英語通訳学 ENGL402英語通訳演習 CHNL401中国語テーマ研究Ⅰ CHNL402中国語テーマ研究Ⅱ CHNL403中国語通訳演習Ⅰ CHNL404中国語通訳演習Ⅱ LIT403中国語特講Ⅰ LIT402英米文学特講Ⅱ（文学理論） ENGL402英語通訳演習							
	<b>文化・観光コース</b>	CT201観光地理学 CT202観光資源学Ⅰ CT203観光資源学Ⅱ CT204観光文化リサーチ論 CT205観光資源リサーチ演習 CT301地域文化と観光 CT302観光資源学Ⅲ CT303観光資源学Ⅳ CT304文化施設論 CT305観光ビジネス演習 CT306観光文化計画演習 CT401文化政策論 CT402文化政策演習							
<b>国際関係コース</b>	IR203現代東アジア論 IR201国際社会論 IR202現代ヨーロッパ論 IR204国際関係学演習 IR301現代アメリカ論 IR302朝鮮半島研究 IR303EU研究 IR305国際協力論 IR306国際関係学 IR307日米関係論 IR304中国研究 IR401日中間関係論 IR402国際関係学総合演習								
<b>日本語コース</b>	JPNL201日本語教育学入門 JPNL202日本語入門 JPNL301日本語教育学概論 JPNL302日本語教育学特講Ⅰ JPNL303日本語概論 JPNL304日本語特講Ⅰ JPNL305通訳翻訳演習Ⅰ JPNL301日本語教育学概論 JPNL302日本語教育学特講Ⅰ JPNL303日本語概論 JPNL304日本語特講Ⅰ JPNL305通訳翻訳演習Ⅰ JPNL302日本語教育学特講Ⅱ JPNL303日本語特講Ⅱ JPNL304日本語特講Ⅱ JPNL305通訳翻訳演習Ⅱ JPNL401日本語教育学特講Ⅱ JPNL402日本語特講Ⅱ JPNL403通訳翻訳演習Ⅲ JPNL404通訳翻訳演習Ⅳ								
学 部 共 通 基 礎	<b>基礎教養系</b>	CS202哲学 CS205日本史 BS104スポーツⅠ BS108倫理学 BS109自然科学概論 BS201生命科学 BS202地誌 BS203自然地理Ⅰ BS204自然地理Ⅱ BS206日本近代史 BS207日本現代史 BS106スポーツⅢ BS107スポーツⅣ BS301人文地理概論Ⅰ BS302人文地理概論Ⅱ BS304東洋史 BS305西洋史 BS303環境学							
	<b>情報系</b>	BS112情報と社会 BS208情報処理基礎 BS209情報とコンピュータ							
	<b>キャリア基礎</b>	CER101キャリア基礎演習Ⅰ CER102キャリア基礎演習Ⅱ CER201文章理解Ⅰ CER202文章理解Ⅱ CER203キャリア演習AⅠ CER204キャリア演習AⅡ CER205キャリア演習BⅠ CER206キャリア演習BⅡ CER302キャリア演習AⅢ CER303キャリア演習AⅣ CER304キャリア演習BⅢ							
	<b>キャリア実践</b>	CER111ライフプランニング論 CER211コミュニケーション論 CER212現代社会と職業 CER221ITマネジメント論 CER221情報処理応用 CER311能力開発論（インターンシップ） CER312コミュニケーション演習 CER341旅行業務Ⅱ（総合）							
	<b>法律系</b>	CER131法学演習Ⅰ CER231法学演習Ⅱ CER232法学演習Ⅲ CER233法学演習Ⅳ CER331法学演習Ⅴ CER332法学演習Ⅵ CER431法学演習Ⅶ CER432法学演習Ⅷ CER433法学演習Ⅷ							
<b>海外留学</b>	SA105海外研修 SA101短期海外研修A SA102短期海外研修B SA201語学研修A SA103短期海外研修C SA202語学研修B SA301海外留学A SA104短期海外研修D SA203語学研修C SA302海外留学B SA204語学研修D SA401海外留学C SA402海外留学D SA402海外留学D								
他 領 域 ・ 教 養	<b>他領域</b>	SBM104経済学入門 SBM105経営学入門 SBM106簿記入門 SBM107法学入門Ⅰ SBM108スポーツ科学 SBM102統計学 SBM103社会学 ECO101ミクロ経済学 BUS101マーケティング入門 BUS102中級簿記論 LAW101法学入門Ⅱ LAW102民法（契約） SBM202政治学Ⅰ ECO201マクロ経済学 BUS203上級簿記論 BUS204工業簿記論 LAW201憲法Ⅰ LAW203民法（総則） SBM203政治学Ⅱ LAW202憲法Ⅱ SBM204行政学 BUS303人事労務管理論 BUS305地場産業論							
	<b>教職</b>	TTC101教職論 TTC201教育心理学概論Ⅰ TTC202教育心理学概論Ⅱ TTC203教育心理学概論Ⅲ TTC204英語科教育法Ⅰ TTC205英語科教育法Ⅱ TTC301教育制度論 TTC302教育方法論 TTC303特別活動論 TTC304教育実習Ⅰ TTC305教育実習Ⅱ TTC306教育実習Ⅲ TTC307生徒指導・進路指導論 TTC308英語科教育法Ⅲ TTC401教育実習事前事後指導 TTC402教育実習Ⅳ TTC403教育実習Ⅴ TTC404教職実践演習（中・高）							

### ナンバリングの考え方

#### 科目区分

全学共通	CS
学部共通基礎	BS
専門基礎（教養）	SBL
専門基礎（マネ）	SBM
専門応用（教養）	SAL
専門応用（マネ）	SAM
英語（国際教養）	ELL
英語（国際マネ）	ELM
中国語（国際教養）	CLL
中国語（国際マネ）	CLM
日本語	JLS
言語系（英語）	ENGL
言語系（中国語）	CHNL
言語系（日本語）	JPNL
言語系（その他）	OTHL
文学	LIT
文化・観光	CT
国際関係	IR
経済	ECO
経営	BUS
法律	LAW
スポーツ	PHE
キャリア	CER
教職	TTC
海外留学	SA

100番台	基礎・入門（1年次）
200番台	初級（2年次）
300番台	中級（3年次）
400番台	上級・応用（4年次）

# カリキュラム・マップ

## 未来創造学部 国際マネジメント学科 カリキュラム・マップ

未来創造学部国際マネジメント学科の人材養成の目的	
【未来創造学部】	グローバルな視野と異文化への深い理解、高いコミュニケーション力により、世界の人々と自由闊達に意見交換し、現代社会に生起するさまざまな課題に的確に対応し、あるべき未来を自ら創造できる人間力あふれる人材を養成する。
【国際マネジメント学科】	国際的な視野での実務的マネジメント力を身につけ、かつ幅広い知識と教養及び外国語コミュニケーション力を備えた、地域社会と国際社会で活躍できる人材を養成する

学修成果	
【大学】	1) 修得した知識や知見により、自らが課題を発見し解決する力 2) 社会で求められるコミュニケーション力と的確な判断力 3) 自らを律し、他者と協調して行動でき、社会の発展に寄与できる力
【未来創造学部国際マネジメント学科】	1) 広い視野、豊かな教養と社会人としてのモラルを兼ね備え、諸課題に柔軟に対応することのできる学生 2) 経営・経済、法律、スポーツ等の幅広い分野で活躍できる総合的マネジメント能力を有する学生 3) リーダーとして、地域社会と国際社会に積極的に係わることのできる学生

国際マネジメント学科 カリキュラム				国際マネジメント学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
				大学のDP			国際マネジメント学科のDP		
ナン バ リ ン グ	科目名	科目 区 分	配 当 年 次	1) 修得した知識 や知見により、 自らが課題を発 見し解決する力	2) 社会で求めら れるコミュニケー ション力と的確な 判断力	3) 自らを律し、 他者と協調して 行動でき、社会 の発展に寄与で きる力	1) 広い視野、豊 かな教養と社会 人としてのモラル を兼ね備え、諸 課題に柔軟に対 応することので きる学生	2) 経営・経済、 法律、スポーツ 等の幅広い分野 で活躍できる総 合的マネジメント 能力を有する学 生	3) リーダーとし て、地域社会と 国際社会に積極 的に係わること のできる学生
				BS101	基礎ゼミナール	必修	1	◎	◎
SBM201	ゼミナールⅠ	必修	2	◎	◎	◎	○	◎	△
SBM301	ゼミナールⅡ	必修	3	◎	◎	◎	○	◎	△
SAM401	卒業研究	必修	4	◎	◎	◎	○	◎	△
BS102	未来創造論Ⅰ	必修	1	◎	◎	◎	○	○	
BS103	未来創造論Ⅱ	必修	1	◎	◎	◎	○	○	
BS104	スポーツⅠ	選択	1		○	◎		○	
BS105	スポーツⅡ	選択	1		○	◎		○	
BS106	スポーツⅢ	選択	2		○	◎		○	
BS107	スポーツⅣ	選択	2		○	◎		○	
CS202	哲学	選択	1	○			◎		
BS108	倫理学	選択	1	○			◎		
BS109	自然科学概論	選択	1	○			◎		
BS201	生命科学	選択	2	○			◎		
BS202	地誌	選択	2	○			◎		
BS301	人文地理概論Ⅰ	選択	3	○			◎		
BS302	人文地理概論Ⅱ	選択	3	○			◎		
BS203	自然地理Ⅰ	選択	2	○			◎		
BS204	自然地理Ⅱ	選択	2	○			◎		
BS303	環境学	選択	3	○			◎		
CS205	日本史	選択	1	○			◎		
BS206	日本近代史	選択	2	○			◎		
BS207	日本現代史	選択	2	○			◎		
BS304	東洋史	選択	3	○			◎		
BS305	西洋史	選択	3	○			◎		
BS111	情報処理入門	必修	1	◎				◎	
BS112	情報と社会	選択	1	◎				◎	
BS208	情報処理基礎	選択	2	◎				◎	
BS209	情報とコンピュータ	選択	2	◎				◎	
CER221	情報処理応用	選択	2	◎				◎	
CER222	ITマネジメント論	選択	2	◎				◎	
CER101	キャリア基礎演習Ⅰ	選択	1	○			◎		
CER102	キャリア基礎演習Ⅱ	選択	1	○			◎		
CER201	文章理解Ⅰ	選択	2	◎	○			◎	
CER202	文章理解Ⅱ	選択	2	◎	○			◎	
CER301	文章理解Ⅲ	自由	3	◎	○			◎	
CER203	キャリア演習AⅠ	自由	2	○			○		
CER204	キャリア演習AⅡ	自由	2	○			○		
CER302	キャリア演習AⅢ	自由	3	○			○		
CER303	キャリア演習AⅣ	自由	3	○			○		

国際マネジメント学科 カリキュラム				国際マネジメント学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
ナンバリング	科目名	科目区分	配当年次	大学のDP			国際マネジメント学科のDP		
				1) 修得した知識や知見により、自らが課題を発見し解決する力	2) 社会で求められるコミュニケーション力と的確な判断力	3) 自らを律し、他者と協調して行動でき、社会の発展に寄与できる力	1) 広い視野、豊かな教養と社会人としてのモラルを兼ね備え、諸課題に柔軟に対応することのできる学生	2) 経営・経済、法律、スポーツ等の幅広い分野で活躍できる総合的マネジメント能力を有する学生	3) リーダーとして、地域社会と国際社会に積極的に係わることのできる学生
CER205	キャリア演習B I	自由	2	○			○		
CER206	キャリア演習B II	自由	2	○			○		
CER304	キャリア演習B III	自由	3	○			○		
CER131	法学演習 I	自由	1	○			○		
CER231	法学演習 II	自由	2	○			○		
CER232	法学演習 III	自由	2	○			○		
CER331	法学演習 IV	自由	3	○			○		
CER332	法学演習 V	自由	3	○			○		
CER431	法学演習 VI A	自由	4	○			○		
CER432	法学演習 VI B	自由	4	○			○		
CER433	法学演習 VI C	自由	4	○			○		
CER111	ライフプランニング論	選択	1	◎	◎	◎		◎	△
CER211	コミュニケーション論	選択	2	◎	◎	◎		◎	△
CER212	現代社会と職業	選択	2	◎	◎	◎		◎	△
CER311	能力開発論 (インターンシップ)	選択	3	◎	◎	◎		◎	△
CER312	コミュニケーション演習	選択	3	◎	◎	◎		◎	△
CER241	旅行業務 I (国内)	自由	2	○	○				
CER341	旅行業務 II (総合)	自由	3	○	○				
	シティカレッジ科目 I	選択		○			○		
	シティカレッジ科目 II	選択		○			○		
	シティカレッジ科目 III	選択		○			○		
	シティカレッジ科目 IV	選択		○			○		
	シティカレッジ科目 V	選択		○			○		
	シティカレッジ科目 VI	選択		○			○		
	シティカレッジ科目 VII	選択		○			○		
	シティカレッジ科目 VIII	選択		○			○		
	シティカレッジ科目 IX	選択		○			○		
	シティカレッジ科目 X	選択		○			○		
	シティカレッジ科目 X I	選択		○			○		
	シティカレッジ科目 X II	選択		○			○		
SA101	短期海外研修 A	選択	・2・3・	○	◎	◎	○		△
SA102	短期海外研修 B	選択	・2・3・	○	◎	◎	○		△
SA103	短期海外研修 C	選択	・2・3・	○	◎	◎	○		△
SA104	短期海外研修 D	選択	・2・3・	○	◎	◎	○		△
SA201	語学研修 A	選択	・2・3・	○	◎	◎	○		△
SA202	語学研修 B	選択	・2・3・	○	◎	◎	○		△
SA203	語学研修 C	選択	・2・3・	○	◎	◎	○		△
SA204	語学研修 D	選択	・2・3・	○	◎	◎	○		△
SA105	海外研修	選択	・2・3・	○	◎	◎	○		△
SA301	海外留学 A	選択	・2・3・	○	◎	◎	○		△
SA302	海外留学 B	選択	・2・3・	○	◎	◎	○		△
SA401	海外留学 C	選択	・2・3・	○	◎	◎	○		△
SA402	海外留学 D	選択	・2・3・	○	◎	◎	○		△
ELM101	リサーチプロジェクト I	選択	1	◎					○
ELM102	リサーチプロジェクト II	選択	1	◎					○
ELM201	リサーチプロジェクト III	選択	2	◎					○
ELM202	リサーチプロジェクト IV	選択	2	◎					○
ELM103	資格英語 I	選択	1	◎	○		○		○
ELM104	資格英語 II	選択	1	◎	○		○		○
ELM203	資格英語 III	選択	2	◎	○		○		○
ELM204	資格英語 IV	選択	2	◎	○		○		○
ELM301	資格英語 V	選択	3	◎	○		○		○
ELM302	資格英語 VI	選択	3	◎	○		○		○
ELM303	イングリッシュコミュニケーション I	選択	2		◎		○		○
ELM304	イングリッシュコミュニケーション II	選択	2		◎		○		○
CLM101	基礎中国語 I	選択	1	◎	○		○		○
CLM102	基礎中国語 II	選択	1	◎	○		○		○
CLM103	基礎中国語 III	選択	1	◎	○		○		○

国際マネジメント学科 カリキュラム				国際マネジメント学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
				大学のDP			国際マネジメント学科のDP		
ナンバリング	科目名	科目区分	配当年次	1) 修得した知識や知見により、自らが課題を発見し解決する力	2) 社会で求められるコミュニケーション力と的確な判断力	3) 自らを律し、他者と協調して行動でき、社会の発展に寄与できる力	1) 広い視野、豊かな教養と社会人としてのモラルを兼ね備え、諸課題に柔軟に対応することのできる学生	2) 経営・経済、法律、スポーツ等の幅広い分野で活躍できる総合的マネジメント能力を有する学生	3) リーダーとして、地域社会と国際社会に積極的に係わることのできる学生
CLM104	基礎中国語Ⅳ	選択	1	◎	○		○		○
CLM105	基礎中国語Ⅴ	選択	1	◎	○		○		○
CLM106	基礎中国語Ⅵ	選択	1	◎	○		○		○
CLM201	中級中国語Ⅰ	選択	2	◎	○		○		○
CLM202	中級中国語Ⅱ	選択	2	◎	○		○		○
CLM203	中級中国語Ⅲ	選択	2	◎	○		○		○
CLM204	中級中国語Ⅳ	選択	2	◎	○		○		○
CLM205	中級中国語Ⅴ	選択	2	◎	○		○		○
CLM206	中級中国語Ⅵ	選択	2	◎	○		○		○
CLM301	アドバンス中国語Ⅰ	選択	3	◎	○		○		○
CLM302	アドバンス中国語Ⅱ	選択	3	◎	○		○		○
CLM303	アドバンス中国語Ⅲ	選択	3	◎	○		○		○
CLM304	アドバンス中国語Ⅳ	選択	3	◎	○		○		○
CLM401	アドバンス中国語Ⅴ	選択	4	◎	○		○		○
CLM402	アドバンス中国語Ⅵ	選択	4	◎	○		○		○
CLM403	アドバンス中国語Ⅶ	選択	4	◎	○		○		○
CLM404	アドバンス中国語Ⅷ	選択	4	◎	○		○		○
JLS101	日本語Ⅰ	選択	1	◎	○		○		○
JLS102	日本語Ⅱ	選択	1	◎	○		○		○
JLS103	日本語Ⅲ	選択	1	◎	○		○		○
JLS104	日本語Ⅳ	選択	1	◎	○		○		○
JLS201	日本語Ⅴ	選択	2	◎	○		○		○
JLS202	日本語Ⅵ	選択	2	◎	○		○		○
JLS203	日本語Ⅶ	選択	2	◎	○		○		○
JLS204	日本語Ⅷ	選択	2	◎	○		○		○
JLS113	資格日本語Ⅰ	選択	1	◎	○		○		○
JLS114	資格日本語Ⅱ	選択	1	◎	○		○		○
JLS205	資格日本語Ⅲ	選択	2	◎	○		○		○
JLS206	資格日本語Ⅳ	選択	2	◎	○		○		○
JLS301	上級資格日本語Ⅰ	選択	3	◎	○		○		○
JLS302	上級資格日本語Ⅱ	選択	3	◎	○		○		○
JLS303	上級資格日本語Ⅲ	選択	3	◎	○		○		○
JLS304	上級資格日本語Ⅳ	選択	3	◎	○		○		○
JLS405	上級資格日本語Ⅴ	選択	4	◎	○		○		○
JLS406	上級資格日本語Ⅵ	選択	4	◎	○		○		○
JLS407	上級資格日本語Ⅶ	選択	4	◎	○		○		○
JLS408	上級資格日本語Ⅷ	選択	4	◎	○		○		○
JLS105	日本語演習Ⅰ	選択	3	○	◎		○		○
JLS106	日本語演習Ⅱ	選択	3	○	◎		○		○
JLS107	日本語演習Ⅲ	選択	3	○	◎		○		○
JLS108	日本語演習Ⅳ	選択	3	○	◎		○		○
JLS109	日本語演習Ⅴ	選択	3	○	◎		○		○
JLS110	日本語演習Ⅵ	選択	3	○	◎		○		○
JLS111	日本語演習Ⅶ	選択	3	○	◎		○		○
JLS112	日本語演習Ⅷ	選択	3	○	◎		○		○
PHE101	スポーツ実習Ⅰ	選択	1		○	○		◎	
PHE102	スポーツ実習Ⅱ	選択	1		○	○		◎	
PHE103	スポーツ実習Ⅲ	選択	1		○	○		◎	
PHE201	スポーツ実習Ⅳ	選択	2		○	○		◎	
PHE202	スポーツ実習Ⅴ	選択	2		○	○		◎	
PHE203	スポーツ実習Ⅵ	選択	2		○	○		◎	
PHE204	スポーツ実習Ⅶ	選択	2		○	○		◎	
PHE301	スポーツ実習Ⅷ	選択	3		○	○		◎	
PHE302	スポーツ実習Ⅸ	選択	3		○	○		◎	
PHE104	競技スポーツ概説	選択	1	○				○	
PHE105	競技スポーツ実習Ⅰ	選択	1		○	○		○	
PHE106	競技スポーツ実習Ⅱ	選択	1		○	○		○	
PHE205	競技スポーツ実習Ⅲ	選択	2		○	○		○	

国際マネジメント学科 カリキュラム				国際マネジメント学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
				大学のDP			国際マネジメント学科のDP		
ナンバリング	科目名	科目区分	配当年次	1) 修得した知識や知見により、自らが課題を発見し解決する力	2) 社会で求められるコミュニケーション力と的確な判断力	3) 自らを律し、他者と協調して行動でき、社会の発展に寄与できる力	1) 広い視野、豊かな教養と社会人としてのモラルを兼ね備え、諸課題に柔軟に対応することのできる学生	2) 経営・経済、法律、スポーツ等の幅広い分野で活躍できる総合的マネジメント能力を有する学生	3) リーダーとして、地域社会と国際社会に積極的に係わることのできる学生
PHE206	競技スポーツ実習Ⅳ	選択	2		○	○		○	
PHE207	コーチング演習Ⅰ	選択	2		○	○		○	
PHE303	コーチング演習Ⅲ	選択	3		○	○		○	
PHE304	コーチング演習Ⅳ	選択	3		○	○		○	
PHE401	指導実践Ⅰ	選択	4		○	○		○	
SBM101	国際マネジメント入門	必修	1	◎	◎	○	◎	◎	◎
SBM102	統計学	選択	1	◎			◎	◎	
SBM202	政治学Ⅰ	選択	2	◎			◎	○	
SBM203	政治学Ⅱ	選択	2	◎			◎	○	
SBM204	行政学	選択	2	◎			◎	○	
SBM103	社会学	選択	1	◎			◎	○	
SBM206	東アジア現代史	選択	2	◎			◎	○	
SBM302	アメリカ現代史	選択	3	◎			◎	○	
SBM208	ヨーロッパ現代史	選択	2	◎			◎	○	
SBM104	経済学入門	必修	1	◎			◎	◎	
EC0101	ミクロ経済学	選択	1	◎			◎	◎	
EC0201	マクロ経済学	選択	2	◎			◎	◎	
EC0202	日本経済論	選択	2	◎			◎	◎	
EC0102	経済学史	選択	1	◎			◎	○	
EC0203	日本経済史	選択	2	◎			◎	○	
EC0204	国際経済学Ⅰ	選択	2	◎			◎	○	
EC0205	国際経済学Ⅱ	選択	2	◎			◎	○	
EC0301	東アジア経済論	選択	3	◎			◎	○	
EC0302	欧米経済論	選択	3	◎			◎	○	
EC0401	リスクマネジメント論	選択	4	◎			○	◎	
EC0402	経済政策	選択	4	◎			○	◎	
EC0206	金融論	選択	2	◎			○	◎	
EC0303	国際金融論	選択	3	◎			○	◎	
EC0207	財政学	選択	2	◎			○	◎	
EC0304	公共経済学	選択	3	◎			○	◎	
EC0403	地域経済論	選択	4	◎			○	◎	
EC0404	地方財政論	選択	4	◎			○	◎	
EC0305	外国為替論	選択	3	◎			○	◎	
EC0306	コーポレートファイナンスⅠ	選択	3	◎			○	◎	
EC0307	コーポレートファイナンスⅡ	選択	3	◎			○	◎	
SBM105	経営学入門	必修	1	◎			○	◎	
SBM106	簿記入門	必修	1	◎			○	◎	
BUS101	マーケティング入門	選択	1	◎			○	◎	
BUS201	経営学概論	選択	2	◎			○	◎	
BUS202	マーケティング論	選択	2	◎			○	◎	
BUS102	中級簿記論	選択	1	◎			○	◎	
BUS203	上級簿記論	選択	2	◎			○	◎	
BUS204	工業簿記論	選択	2	◎			○	◎	
BUS205	財務会計論	選択	2	◎			○	◎	
BUS206	管理会計論	選択	2	◎			○	◎	
BUS301	税務会計論	選択	3	◎			○	◎	
BUS401	国際会計論	選択	4	◎			○	◎	
BUS402	監査論	選択	4	◎			○	◎	
BUS207	流通システム論	選択	2	◎			○	◎	
BUS208	組織戦略論	選択	2	◎			○	◎	
BUS302	組織行動論	選択	3	◎			○	◎	
BUS303	人事労務管理論	選択	3	◎			○	◎	
BUS304	消費者行動論	選択	3	◎			○	◎	
BUS305	地場産業論	選択	3	◎			○	◎	
BUS403	貿易実務	選択	4	◎			○	◎	
SBM107	法学入門Ⅰ	必修	1	◎			○	◎	
LAW101	法学入門Ⅱ	選択	1	◎			○	◎	
LAW201	憲法Ⅰ	選択	2	◎			○	◎	

国際マネジメント学科 カリキュラム				国際マネジメント学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
				大学のDP			国際マネジメント学科のDP		
ナンバリング	科目名	科目区分	配当年次	1) 修得した知識や知見により、自らが課題を発見し解決する力	2) 社会で求められるコミュニケーション力と的確な判断力	3) 自らを律し、他者と協調して行動でき、社会の発展に寄与できる力	1) 広い視野、豊かな教養と社会人としてのモラルを兼ね備え、諸課題に柔軟に対応することのできる学生	2) 経営・経済、法律、スポーツ等の幅広い分野で活躍できる総合的マネジメント能力を有する学生	3) リーダーとして、地域社会と国際社会に積極的に係わることのできる学生
LAW202	憲法Ⅱ	選択	2	◎			○	◎	
LAW102	民法(契約)	選択	1	◎			○	◎	
LAW203	民法(総則)	選択	2	◎			○	◎	
LAW204	民法(債権Ⅰ)	選択	2	◎			○	◎	
LAW301	民法(債権Ⅱ)	選択	3	◎			○	◎	
LAW302	民法(物権)	選択	3	◎			○	◎	
LAW205	刑法Ⅰ	選択	2	◎			○	◎	
LAW206	刑法Ⅱ	選択	2	◎			○	◎	
LAW207	行政法Ⅰ	選択	2	◎			○	◎	
LAW208	行政法Ⅱ	選択	2	◎			○	◎	
LAW303	会社法	選択	3	◎			○	◎	
LAW304	労働法Ⅰ	選択	3	◎			○	◎	
LAW305	労働法Ⅱ	選択	3	◎			○	◎	
LAW306	訴訟法	選択	3	◎			○	◎	
LAW401	知的財産法	選択	4	◎			○	◎	
LAW402	国際取引法	選択	4	◎			○	◎	
SBM108	スポーツ科学	選択	1	◎			○	◎	
PHE107	健康管理学	選択	1	◎			○	◎	
PHE108	運動生理学	選択	1	◎			○	◎	
PHE208	運動動作学	選択	2	◎			○	◎	
PHE209	体育原理	選択	2	◎			○	◎	
PHE210	スポーツ医学	選択	2	◎			○	◎	
PHE211	トレーニング論	選択	2	◎			○	◎	
PHE212	スポーツ法学研究	選択	2	◎			○	◎	
PHE305	運動心理学	選択	3	◎			○	◎	
PHE306	スポーツ社会学	選択	3	◎			○	◎	
PHE307	スポーツマネジメント	選択	3	◎			○	◎	
PHE308	コーチング学	選択	3				○	◎	
PHE309	アスリートサポート演習	選択	3		○			◎	
PHE213	コーチング演習サッカーⅡ	選択	2		○			◎	
PHE402	指導実践Ⅱ	選択	4		○			◎	
PHE310	コーチング演習柔道Ⅰ	選択	3		○			◎	
PHE311	コーチング演習柔道Ⅱ	選択	3		○			◎	
PHE214	スポーツ栄養学	選択	2	◎				◎	
PHE312	学校保健	選択	3	◎					
PHE313	救急処置	選択	3	◎					
PHE314	性教育	選択	3	◎					
PHE315	衛生学	選択	3	◎					
PHE316	公衆衛生学	選択	3	◎					
PHE215	生理学	選択	2	◎					
PHE317	発育発達論Ⅰ	選択	3	◎					
PHE318	発育発達論Ⅱ	選択	3	◎					
SBL105	世界の言葉と人々	選択	1		◎		○		
CHNL101	はじめての中国語会話Ⅰ	選択	1		◎		○		○
CHNL102	はじめての中国語会話Ⅱ	選択	1		◎		○		○
SBL106	言語学概論Ⅰ	選択	1	○			◎		
SBL204	言語学概論Ⅱ	選択	2	○			◎		
LIT101	英米文学概論	選択	1	○			◎		
SBL102	宗教学入門	選択	1	○			◎		
SBL103	芸術学	選択	1	○			◎		
SBL107	日本文化史	選択	1	○			◎		
SBL201	日本の伝統芸術	選択	2	○			◎		
SBL108	観光学入門	選択	1	○			◎		
CT201	観光地理学	選択	2	○			◎		
SBL109	国際関係学入門	選択	1	○			◎		
SBL110	国際関係史	選択	1	○			◎		
IR201	国際社会論	選択	2	○			◎		
TTC101	教職論	自由	1	○				○	△

国際マネジメント学科 カリキュラム				国際マネジメント学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
				大学のDP			国際マネジメント学科のDP		
ナンバリング	科目名	科目区分	配当年次	1) 修得した知識や知見により、自らが課題を発見し解決する力	2) 社会で求められるコミュニケーション力と的確な判断力	3) 自らを律し、他者と協調して行動でき、社会の発展に寄与できる力	1) 広い視野、豊かな教養と社会人としてのモラルを兼ね備え、諸課題に柔軟に対応することのできる学生	2) 経営・経済、法律、スポーツ等の幅広い分野で活躍できる総合的マネジメント能力を有する学生	3) リーダーとして、地域社会と国際社会に積極的に係わることのできる学生
TTC201	教育学概論	自由	2	○				○	△
TTC202	教育心理学概論Ⅰ	自由	2	○				○	△
TTC203	教育心理学概論Ⅱ	自由	2	○				○	△
TTC301	教育制度論	自由	3	○				○	△
TTC207	中学社会科教育法Ⅰ	自由	2	○				○	△
TTC208	中学社会科教育法Ⅱ	自由	2	○				○	△
TTC308	中学・高校地理歴史教育法Ⅰ	自由	3	○				○	△
TTC309	中学・高校地理歴史教育法Ⅱ	自由	3	○				○	△
TTC310	中学・高校公民教育法Ⅰ	自由	3	○				○	△
TTC311	中学・高校公民教育法Ⅱ	自由	3	○				○	△
TTC209	保健体育科教育法Ⅰ	自由	2	○				○	△
TTC210	保健体育科教育法Ⅱ	自由	2	○				○	△
TTC312	保健体育科教育法Ⅲ	自由	3	○				○	△
TTC313	保健体育科教育法Ⅳ	自由	3	○				○	△
TTC304	道徳教育論	自由	3	○				○	△
TTC305	特別活動論	自由	3		○			○	△
TTC306	教育方法論	自由	3		○			○	△
TTC307	生徒指導・進路指導論	自由	3		○			○	△
TTC206	教育相談	自由	2		○			○	△
TTC401	教育実習事前事後指導	自由	4		○			○	△
TTC402	教育実習Ⅰ	自由	4		○			○	△
TTC403	教育実習Ⅱ	自由	4		○			○	△
TTC404	教職実践演習(中・高)	自由	4		○			○	△



# カリキュラム・ツリー

## 【国際マネジメント学科】

		1年		2年		3年		4年			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
学科基礎	必修	BS101基礎ゼミナール									
		BS102未来創造論Ⅰ SBM101国際マネジメント入門 BS111情報処理入門	BS103未来創造論Ⅱ								
専門	選択	SBM102統計学 SBM103社会学		SBM202政治学Ⅰ	SBM203政治学Ⅱ	SBM204行政学 SBM206東アジア現代史 SBM208ヨーロッパ現代史	SBM302アメリカ現代史				
	専門演習(必修)	SBM201ゼミナールⅠ		SBM301ゼミナールⅡ		SAM401卒業研究					
専門	入門(必修)	SBM104経済学入門		SBM105経営学入門		SBM106簿記入門		SBM107法学入門Ⅰ			
	経済コース	ECO101ミクロ経済学 ECO102経済学史	ECO201マクロ経済学 ECO204国際経済学Ⅰ ECO206金融論 ECO203日本経済史	ECO202日本経済論 ECO205国際経済学Ⅱ ECO207財政学	ECO301東アジア経済論 ECO305外国為替論 ECO306コーポレートファイナンスⅠ ECO304公共経済学	ECO302欧米経済論 ECO303国際金融論 ECO307コーポレートファイナンスⅡ	ECO401リスクマネジメント論 ECO402経済政策 ECO403地域経済論	ECO404地方財政論			
	経営・会計コース	BUS101マーケティング入門	BUS201経営学概論 BUS202マーケティング論	BUS207流通システム論 BUS208組織戦略論	BUS302組織行動論 BUS303人事労務管理論 BUS304消費者行動論	BUS305地場産業論	BUS403貿易実務				
	法律コース	LAW101法学入門Ⅱ LAW102民法(契約)	LAW201憲法Ⅰ LAW203民法(総則) LAW205刑法Ⅰ LAW207行政法Ⅰ	LAW202憲法Ⅱ LAW204民法(債権Ⅰ) LAW206刑法Ⅱ LAW208行政法Ⅱ	LAW306訴訟法 LAW304労働法Ⅰ LAW301民法(債権Ⅱ)	LAW303会社法 LAW305労働法Ⅱ LAW302民法(物権)	LAW401知的財産法	LAW402国際取引法			
	スポーツマネジメントコース	PHE108スポーツ科学 PHE107健康管理学	PHE208運動動作学 PHE209体育原理 PHE210スポーツ医学 PHE213コーチング演習サッカーⅡ	PHE211トレーニング論 PHE212スポーツ法学研究 PHE214スポーツ栄養学 PHE215生理学	PHE305運動心理学 PHE306スポーツ社会学 PHE308コーチング学 PHE310コーチング演習柔道Ⅰ PHE313救急処置 PHE315衛生学 PHE317発育発達論Ⅰ	PHE307スポーツマネジメント PHE309アスリートサポート演習 PHE312学校保健 PHE311コーチング演習柔道Ⅱ PHE314性教育 PHE316公衆衛生学 PHE318発育発達論Ⅱ	PHE402指導実践Ⅱ				
		PHE106競技スポーツ実習Ⅱ PHE105競技スポーツ実習Ⅰ	PHE205競技スポーツ実習Ⅲ PHE207コーチング演習Ⅰ	PHE206競技スポーツ実習Ⅳ	PHE303コーチング演習Ⅲ	PHE304コーチング演習Ⅳ	PHE401指導実践Ⅰ				
	学部共通基礎	基礎教養系	CS202哲学 CS205日本史 BS104スポーツⅠ	BS108倫理学 BS109自然科学概論 BS105スポーツⅡ BS106スポーツⅢ	BS201生命科学 BS203自然地理Ⅰ BS206日本近代史 BS107スポーツⅣ	BS202地誌 BS204自然地理Ⅱ BS207日本現代史	BS301人文地理概論Ⅰ BS304東洋史 BS303環境学	BS302人文地理概論Ⅱ BS305西洋史			
		情報系	BS112情報と社会		BS208情報処理基礎 BS209情報とコンピュータ						
		キャリア基礎	CER101キャリア基礎演習Ⅰ	CER102キャリア基礎演習Ⅱ	CER201文章理解Ⅰ CER203キャリア演習AⅠ CER205キャリア演習BⅠ	CER202文章理解Ⅱ CER204キャリア演習AⅡ CER206キャリア演習BⅡ	CER302キャリア演習AⅢ CER304キャリア演習BⅢ	CER301文章理解Ⅲ CER303キャリア演習AⅣ			
		キャリア実践	CER111ライフプランニング論	CER211コミュニケーション論 CER241旅行業務Ⅰ(国内)	CER212現代社会と職業 CER221ITマネジメント論 CER221情報処理応用	CER311能力開発論(インターンシップ) CER341旅行業務Ⅱ(総合)	CER312コミュニケーション演習				
法律系		CER131法学演習Ⅰ	CER231法学演習Ⅱ	CER232法学演習Ⅲ	CER331法学演習Ⅳ	CER332法学演習Ⅴ	CER431法学演習ⅥA CER432法学演習ⅥB CER433法学演習ⅥC				
海外留学		SA105海外研修	SA101短期海外研修A SA102短期海外研修B SA201語学研修A	SA103短期海外研修C SA202語学研修B SA301海外留学A	SA104短期海外研修D SA203語学研修C SA302海外留学B	SA204語学研修D SA401海外留学C	SA402海外留学D				
外国語		英語	ELM101リサーチプロジェクトⅠ ELM103資格英語Ⅰ	ELM102リサーチプロジェクトⅡ ELM104資格英語Ⅱ	ELM201リサーチプロジェクトⅢ ELM203資格英語Ⅲ ELM303イングリッシュコミュニケーションⅠ	ELM202リサーチプロジェクトⅣ ELM204資格英語Ⅳ ELM304イングリッシュコミュニケーションⅡ	ELM301資格英語Ⅴ	ELM302資格英語Ⅵ			
		中国語	CLM101基礎中国語Ⅰ CLM103基礎中国語Ⅲ CLM105基礎中国語Ⅴ	CLM102基礎中国語Ⅱ CLM104基礎中国語Ⅳ CLM106基礎中国語Ⅵ	CLM201中級中国語Ⅰ CLM203中級中国語Ⅲ CLM205中級中国語Ⅴ	CLM202中級中国語Ⅱ CLM204中級中国語Ⅳ CLM206中級中国語Ⅵ	CLM301アドバンス中国語Ⅰ CLM303アドバンス中国語Ⅲ	CLM302アドバンス中国語Ⅱ CLM304アドバンス中国語Ⅳ	CLM401アドバンス中国語Ⅴ CLM403アドバンス中国語Ⅶ	CLM402アドバンス中国語Ⅵ CLM404アドバンス中国語Ⅷ	
		日本語	JLS101日本語Ⅰ JLS103日本語Ⅲ JLS113資格日本語Ⅰ	JLS102日本語Ⅱ JLS104日本語Ⅳ JLS114資格日本語Ⅱ	JLS201日本語Ⅴ JLS203日本語Ⅶ JLS205資格日本語Ⅲ	JLS202日本語Ⅵ JLS204日本語Ⅷ JLS206資格日本語Ⅳ	JLS301上級資格日本語Ⅰ JLS303上級資格日本語Ⅲ JLS105日本語演習Ⅰ JLS107日本語演習Ⅲ JLS109日本語演習Ⅴ JLS111日本語演習Ⅶ	JLS302上級資格日本語Ⅱ JLS304上級資格日本語Ⅳ JLS106日本語演習Ⅱ JLS108日本語演習Ⅳ JLS110日本語演習Ⅵ JLS112日本語演習Ⅷ	JLS405上級資格日本語Ⅴ JLS407上級資格日本語Ⅶ	JLS406上級資格日本語Ⅵ JLS408上級資格日本語Ⅷ	
		他領域	SBL105世界の言葉と人々 SBL107日本文化史 SBL109国際関係学入門 CHNL101はじめての中国語会話Ⅰ	SBL102宗教学入門 SBL103芸術学 SBL106言語学概論Ⅰ LIT101英米文学概論 SBL108観光学入門 SBL110国際関係史 CHNL102はじめての中国語会話Ⅱ	SBL201日本の伝統芸術 CT201観光地理学 SBL204言語学概論Ⅱ	IR201国際社会学論					
他領域・教職	教職	PHE101スポーツ実習Ⅰ	PHE102スポーツ実習Ⅱ PHE103スポーツ実習Ⅲ TTC101教職論	PHE201スポーツ実習Ⅳ PHE202スポーツ実習Ⅴ TTC202教育心理学概論Ⅰ TTC201教育概論	PHE203スポーツ実習Ⅵ PHE204スポーツ実習Ⅶ TTC203教育心理学概論Ⅱ TTC206教育相談 TTC209保健体育科教育法Ⅰ TTC207中学校社会科教育法Ⅰ	PHE301スポーツ実習Ⅷ TTC304道徳教育論 TTC306教育方法論 TTC307生徒指導・進路指導論 TTC312保健体育科教育法Ⅲ TTC308中学・高校地理歴史教育法Ⅰ TTC310中学・高校公民教育法Ⅰ	PHE302スポーツ実習Ⅷ TTC301教育制度論 TTC305特別活動論 TTC313保健体育科教育法Ⅳ TTC309中学・高校地理歴史教育法Ⅱ TTC311中学・高校公民教育法Ⅱ	TTC401教育実習事前事後指導 TTC402教育実習Ⅰ TTC403教育実習Ⅱ	TTC404教職実践演習(中・高)		

## ナンバリングの考え方

### 科目区分

全学共通	CS
学部共通基礎	BS
専門基礎(教養)	SBL
専門基礎(マネ)	SBM
専門応用(教養)	SAL
専門応用(マネ)	SAM
英語(国際教養)	ELL
英語(国際マネ)	ELM
中国語(国際教養)	CLL
中国語(国際マネ)	CLM
日本語	JLS
言語系(英語)	ENGL
言語系(中国語)	CHNL
言語系(日本語)	JPNL
言語系(その他)	OTHL
文学	LIT
文化・観光	CT
国際関係	IR
経済	ECO
経営	BUS
法律	LAW
スポーツ	PHE
キャリア	CER
教職	TTC
海外留学	SA

100番台	基礎・入門(1年次)
200番台	初級(2年次)
300番台	中級(3年次)
400番台	上級・応用(4年次)

## Ⅲ 授業と履修

### 1. 授業科目の区分

授業科目は、必修科目、選択科目及び自由科目に区分されます。

必修科目	所属する学部・学科において、履修を義務付けられた科目です。この科目は、必ず卒業までに単位を修得しなければなりません。
選択科目	各自の学修計画に基づき、自由に選択できる科目です。この科目は、卒業に必要な単位数に含まれます。
自由科目	単位は認定されますが、進級及び卒業に必要な単位とはならない科目です。

### 2. 単位

#### (1) 単位制

本学部は、学年制を加味した単位制となっています。

単位制とは、各授業科目について、定められた時間数を履修し、試験などに合格することによって、その授業科目の単位を修得していくことです。その修得した単位が学則に定められている卒業要件単位を満たした学生に対して卒業が認定されます。なお、単位とは、学修量を確認する基準です。1単位は、45時間の学修を必要とする教育内容をもって構成されます。

#### (2) 単位の計算方法

1単位の学修時間は、授業時間（教室内）と自学自修時間（予習時間及び復習時間）を合わせて45時間を基準としています。ただし、語学科目など、授業形態によっては算出基準が異なります。

また、単位認定を受けるためには、教室内の授業時間以外に必ず自学自修時間（予習及び復習）が義務付けられています。授業担当者から、予習及び復習の指示が出されますので、必ず予習及び復習を行ってください。

##### 〈計算基準〉

授業形態	単位	学修時間	授業時間 (教室内)	自学自修時間 (教室外)
講義	1	45時間 (毎週3時間15週)	15時間 (毎週1時間15週)	30時間 (毎週2時間15週)
演習	1	45時間 (毎週3時間15週)	30時間 (毎週2時間15週)	15時間 (毎週1時間15週)
実習・実技	1	45時間 (毎週3時間15週)	45時間 (毎週3時間15週)	—

- 【備考】
1. 授業時間数の算定に当たっては、90分を2時間とみなします。
  2. 海外留学について、30時間の実習時間をもって1単位とすることがあります。
  3. 卒業研究については、上記によらず、学修の成果を評価して、単位認定を行います。
  4. スポーツは、30時間で1単位とします。

### 3. 卒業に必要な単位

卒業するためには、各学年を経て4年以上（最長8年まで）在学し、定められた科目を履修のうえ、下表のとおり128単位以上修得しなければなりません。

未来創造学部			
国際教養学科		国際マネジメント学科	
外国語科目群	英語 22単位以上 中国語 22単位以上 日本語 22単位以上 ※1言語	外国語科目群	英語 12単位以上 中国語 12単位以上 日本語 12単位以上 ※1言語
学部共通 基礎教育科目群	健康科目 2単位以上 未来創造科目 4単位 演習科目 16単位 情報科目 2単位以上 一般教養科目 4単位以上 合計 28単位以上 ※キャリア科目の一部、シ ティカレッジ科目、留学科 目は卒業要件修得単位数に 算入する。	学部共通 基礎教育科目群	健康科目 2単位以上 未来創造科目 4単位 演習科目 16単位 情報科目 2単位以上 一般教養科目 4単位以上 合計 28単位以上 ※キャリア科目の一部、シ ティカレッジ科目、留学科 目は卒業要件修得単位数に 算入する。
国際教養科目群	必修 10単位 選択 40単位以上 合計 50単位以上	国際マネジメント科目群	必修 10単位 選択 50単位以上 合計 60単位以上
国際マネジメント科目群	卒業要件修得単位数に算入する	国際教養科目群	卒業要件修得単位数に算入する
—	—	スポーツ専門実技科目群	教職科目 9単位 サッカー指定科目 14単位 ※卒業要件修得単位数に算入 する
合計	128単位以上	合計	128単位以上

### 4. 卒業に必要な単位の履修方法

卒業するために必要な履修の仕方を次のとおり学科別に記載していますので、4年間、取り間違いのないよう十分計画を立てて履修してください。

#### 【国際教養学科】

#### (1) 基礎教育科目群

##### ① 演習科目

「基礎ゼミナール」、「ゼミナールⅠ」、「ゼミナールⅡ」、「卒業研究」の4科目16単位は必修科目です。

##### ② 未来創造科目

「未来創造論Ⅰ」、「未来創造論Ⅱ」の2科目4単位は必修科目です。

##### ③ 一般教養科目

必修科目はありませんが、4単位以上修得しなければなりません。

#### ④ 情報科目

「情報処理入門」の2単位は必修科目です。必修科目を含めて2単位以上修得しなければなりません。

#### ⑤ キャリア科目

「キャリア基礎演習Ⅰ」、「キャリア基礎演習Ⅱ」は履修指定科目です（留学生を除く）。必ず履修しなければなりません。「文章理解Ⅲ」、「キャリア演習AⅠ～Ⅳ」、「キャリア演習BⅠ～Ⅲ」、「法学演習Ⅰ～ⅥC」、「旅行業務Ⅰ～Ⅱ」は自由科目のため、卒業要件修得単位数に算入されません。

#### ⑥ 健康科目

必修科目はありませんが、2単位以上修得しなければなりません。

#### ⑦ シティカレッジ科目

必修科目や卒業要件の修得単位数はありません。修得した科目の単位数は卒業要件修得単位数に算入されます。

#### ⑧ 留学科目

必修科目や卒業要件の修得単位数はありません。修得した科目の単位数は卒業要件修得単位数に算入されます。

### (2) 外国語科目群

英語、中国語、日本語の中から一言語を履修しなければなりません。ただし、母国語を履修することはできません。英語及び中国語は必修科目22単位以上を修得しなければなりません。日本語は必修科目20単位と選択科目2単位以上修得しなければなりません。

### (3) 国際教養科目群

「国際教養論」、「世界の言葉と人々」、「日本文化史」、「国際関係学入門」、「宗教学入門」の10単位は必修科目です。2年次からコース選択制度を導入しますので「英語・中国語」、「日本語」、「文化・観光」、「国際関係」コースの中から一つを選択し、また、コース指定科目だけでは卒業要件修得単位数を充足できませんので、不足単位数は総合科目及び他コース配当科目で満たさなければなりません。

### (4) 国際マネジメント科目群

必修科目や卒業要件の修得単位数はありません。修得した科目の単位数は卒業要件修得単位数に算入されます。多彩な科目が設置されていますので関心のある科目を受講して幅広い教養を身につけてください。

### (5) 教職に関する科目

必修科目や卒業要件の修得単位数はありません。修得した科目の単位数は卒業要件修得単位数に算入されません。教育職員免許状取得希望者はすべての科目を修得しなければ免許状は授与できません。

## 【国際マネジメント学科】

### (1) 基礎教育科目群

#### ① 演習科目

「基礎ゼミナール」、「ゼミナールⅠ」、「ゼミナールⅡ」、「卒業研究」の4科目16単位は必修科目です。

#### ② 未来創造科目

「未来創造論Ⅰ」、「未来創造論Ⅱ」の2科目4単位は必修科目です。

#### ③ 一般教養科目

必修科目はありませんが、4単位以上修得しなければなりません。

④ 情報科目

「情報処理入門」の2単位は必修科目です。必修科目を含めて2単位以上修得しなければなりません。

⑤ キャリア科目

「ライフプランニング論」「キャリア基礎演習Ⅰ」、「キャリア基礎演習Ⅱ」は履修指定科目です（留学生を除く）。必ず履修しなければなりません。「文章理解Ⅲ」、「キャリア演習AⅠ～Ⅳ」、「キャリア演習BⅠ～Ⅲ」、「法学演習Ⅰ～ⅥC」、「旅行業務Ⅰ～Ⅱ」は自由科目のため、卒業要件修得単位数に算入されません。

⑥ 健康科目

必修科目はありませんが、2単位以上修得しなければなりません。

⑦ シティカレッジ科目

必修科目や卒業要件の修得単位数はありません。修得した科目の単位数は卒業要件修得単位数に算入されます。

⑧ 留学科目

必修科目や卒業要件の修得単位数はありません。修得した科目の単位数は卒業要件修得単位数に算入されます。

(2) スポーツ専門実技科目群

① 教職（保健体育）

教職（保健体育）希望者はスポーツ実習Ⅰ～Ⅸの9単位は必修科目です。修得した科目の単位数は卒業要件修得単位数に算入されます。

② サッカー（クーバーコーチング資格）

クーバーコーチング資格取得希望者は「競技スポーツ概説」、「競技スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」、「コーチング演習Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ」、「指導実践Ⅰ」の14単位が必修科目です。修得した科目の単位数は卒業要件修得単位数に算入されます。

(3) 外国語科目群

英語、中国語、日本語の中から一言語を履修しなければなりません。ただし、母国語を履修することはできません。英語、中国語及び日本語は必修科目12単位以上を修得しなければなりません。

(4) 国際マネジメント科目群

「国際マネジメント入門」、「経済学入門」、「経営学入門」、「簿記入門」、「法学入門Ⅰ」の10単位は必修科目です。2年次からコース選択制度を導入します（ただし、「スポーツ」は1年次からコース制となり、履修指定科目もあります）ので「経済」、「経営・会計」、「法律」コースの中から一つを選択し、原則、2～3年次のコース履修指定科目をすべて履修しなければなりません。また、卒業要件単位数を充足するために総合科目または他コース科目を履修のうえ、修得しなければなりません。

(5) 国際教養科目群

必修科目や卒業要件の修得単位数はありません。修得した科目の単位数は卒業要件修得単位数に算入されます。多彩な科目が設置されていますので関心のある科目を受講して幅広い教養を身につけてください。

(6) 教職に関する科目

必修科目や卒業要件の修得単位数はありません。修得した科目の単位数は卒業要件修得単位数に算入されません。教育職員免許状取得希望者は教科教育法以外の科目はすべて修得しなければなりません。教科教育法は希望免許状に応じて修得しなければなりません。

## 5. 進級に必要な単位及び基準

各年次終了時の進級基準は次のとおりとなります。

年次	進級基準
1	1年次は、修得単位数30単位以上（基礎ゼミナール・4単位含む）あることならびに当該年度GPA 1.0以上とする。 （ただし、国際マネジメント学科は合わせて学科必修科目3科目6単位以上も取得する。）
2	2年次は、修得単位数60単位以上（ゼミナールⅠ・4単位含む）あることならびに当該年度GPA 1.0以上とする。 （ただし、海外留学中の学生はゼミナールⅠを修得のうえ、当該年度GPA 1.0以上とし、修得単位数は問わない。）
3	3年次は、修得単位数90単位以上（ゼミナールⅡ・4単位含む）あることならびに当該年度GPA 1.0以上とする。 （ただし、海外留学中の学生はゼミナールⅡを修得のうえ、当該年度GPA 1.0以上とし、修得単位数は問わない。）

※GPAについては、P44に詳しい説明があります。

## 6. 履修登録単位の制限

1年間に履修できる単位数には上限があります。これは、過度の履修を防ぐことにより、それぞれの科目の理解度を高めるためです。各年次の制限単位数を超えて履修登録することはできませんので、よく考えて登録してください。ただし、スポーツ専門実技科目群（サッカー指定科目）、教職に関する科目及び自由科目はこの履修登録単位の制限に含みません。

〔履修登録制限単位数〕

年次	単位数
1	44
2	36
3	36（編入生は、44）
4	44

## 7. 他学部・他学科などの受講

学生の多様な興味・関心に応えられるように、他学部・他学科で開講される授業科目、学部・学科に準ずる学内組織で開講される科目及び講座などについては、届け出などの手続きを経たうえで、履修することができます。

この場合、原則として、自由科目（進級、卒業及び課程履修に必要な単位とはならない科目）として取り扱いますが、学部長が認めた場合、卒業に必要な単位に読み替えることができます。届け出などの手続きについては、教務課に問い合わせてください。

## 8. 履修登録

履修登録とは、自らの学修成果を高め、将来の目標及び自己実現を達成するために、自らの学修計画に基づき、各学期開始時において、授業科目の履修の意思表示をすることであり、学修の出発点になる大切な手続きのことを言います。

履修登録において、いったん登録した科目の変更は原則として認めません。履修ガイダンスに必ず出席のうえ、「学生便覧」、「授業時間割」及びシラバスなどをよく読み、各自の時間割を作成してください。なお、登録に当たっては、履修指定科目や年間履修登録制限単位数等の要件があります。

また、後期開始時において、後期開講科目に限り、年間の履修登録制限単位数を超えない範囲で追加することができます。具体的な履修手続きなどについては、後期開始時のガイダンスで案内します。

なお、定められた期間に履修登録を怠った場合は授業を履修することができず、単位を修得することができませんので注意してください。

## 9. 履修登録手続き

履修登録手続きは、学生支援システムから行います。登録方法については、ガイダンスで詳細を説明します。なお、履修登録には期間が設定されていますので、登録期間内に必ず手続きを行ってください。

## 10. 履修登録上の注意

### (1) 一般注意事項

- ① 履修しようとするすべての授業科目を登録しなければなりません。
- ② 履修登録が行われていない授業科目は、たとえ授業に出席し、試験を受けても単位が認められません。
- ③ 履修登録が完了した段階での科目の変更・追加・中止はできません。

### (2) 登録上の注意

- ① 同一曜日・時限に2科目以上重複して履修することはできません。
- ② 同一科目については、授業担当者が異なっても履修することはできません。
- ③ あらかじめ学籍番号等により受講クラスが指定されている場合、必ずその指定されたクラスで受講してください。
- ④ 年次配当表に基づき、履修することになります。ただし、自らの教育効果を高めるために、所属年次より上の年次の授業科目を学部長に申請のうえ、履修することができます。

## 11. 授 業

### 【学 期】

一部の科目を除き、 Semester制（前期・後期）で行われます。

前 期	4月1日 ～ 9月30日
後 期	10月1日 ～ 3月31日

※ 年度によって、各学期の開始または終了日が変更になりますので、必ず「University Calendar」で確認してください。

### 【Semester制】

Semester制とは、前期または後期で授業を完結し、単位を認定する制度です。一部の演習科目を除いて、ほとんどの科目は、Semester制で授業が開講されています。この制度では、短期間で集中的に学習することにより、より高い学修効果を得ることができます。また、外国の大学への留学にも対応しやすく、留学を視野に入れた学修計画が可能となります。

### 【授業科目の開講形態】

授業の開講形態は、次のとおり分類されます。

前期科目 後期科目	前期または後期に授業が開講される科目です。成績評価及び単位認定は学期ごとに行われます。
通年科目	1年間にわたって授業が開講される科目です。前期・後期の成績を総合的に評価して単位が認定されます。
集中講義	特定の時期に集中して開講される講義科目です。

### 【授業時間】

授業時間は、1時限が90分間となっています。

時 限	授 業 時 間
1 限	9：15～10：45
2 限	11：00～12：30
3 限	13：20～14：50
4 限	15：05～16：35
5 限	16：50～18：20

### 【授業の出席・欠席】

#### (1) 出席

授業には、病気などやむを得ない場合を除いて、出席しなければなりません。また補講についても通常授業と同じであり、出席しなければなりません。

#### (2) 欠席

授業を欠席する（欠席した）ときは、欠席理由を明記した「欠席届」を提出しなければなりません。病気の場合は医師の診断書、事故その他の場合はそれを証明する書類の提出を求めることがあります。



### (3) 公認欠席

公認欠席（公欠）は、「北陸大学公認欠席等に関する細則」に基づき、所定の手続きを経たうえ、許可された場合、授業を欠席したのものとして取り扱わないことをいいます。

\* 公認欠席に関する手続き等の詳細については、P59「北陸大学公認欠席に関する細則」を確認してください。

### (4) 悪天候等における授業・試験の取り扱いと対応について

悪天候等に伴う、交通機関の不通、特別警報等発令時における授業及び試験の取り扱いを以下のとおり定めます。

#### ① 休講及び試験休止

次のいずれかの状況が発生した場合は、休講及び試験休止とします。

##### 1) 金沢地方気象台から「加賀北部地域」に特別警報が発令された場合

\* 「特別警報」とは、これまで経験したことがないような重大な危険が差し迫った異常な状況になると予想される場合に発令される警報であり、「特別警報」が発令された場合は、避難情報等に從いただちに命を守る行動をとること。

##### 2) 北鉄バスが全面不通の場合

##### 3) その他、休講及び試験を休止することが適切であると学長が認めた場合

#### ② 休講の解除及び試験休止の解除

警報解除又は運転再開の時刻	授業及び試験の取り扱い
7時00分まで	1限から実施
11時00分まで	3限から実施
11時00分以降	終日休講又は休止

#### ③ 決定・周知方法

学生及び教職員への周知方法は、大学ホームページ、学生支援システムを利用したメール配信を行います。

#### ④ その他

1) 休講となった場合は、補講を実施します。なお、終日休講となった場合は、授業予備日等を授業代替日として実施します。

2) 試験休止となった場合は、原則、試験最終日の翌日を試験代替日として実施します。

3) 学外の実習等の場合は、各実習先又は実習担当教員の指示に從うものとします。

4) 学生の居住地域に係わる交通機関の不通及び警報発令等については、自身の判断で安全確保に努め、欠席については、事由を証明する書類を持参の上、1週間以内に薬学学務課又は教務課にて、公欠又は追試験の手続きを行うこととします。

## 【クラス編成】

学籍番号または習熟度別にクラスを編成し、授業を行うことがあります。

## 【休講】

授業が休講になる場合は、事前に掲示で案内します。なお、授業開始後15分経過しても授業担当者から連絡、または指示がない場合は、必ず教務課に連絡し、その指示に從ってください。

休講情報は、学生支援システムからも確認できます。

※学内掲示板でお知らせする休講・補講掲示が正式な通知になりますので、必ず確認してください。

### 【補講】

- (1) 授業担当者の事由により授業が休講になった場合、補講が行われますので、必ず掲示板で補講日程を確認してください。
- (2) 授業担当者による休講がなくても、授業の進度により補講が行われることがあります。なお、補講の日程については、事前に掲示で案内します。

### 【授業時間割】

授業時間割表は、各学期当初に行われる履修ガイダンスで配付します。配付後、開講時間帯や教室等に変更があった場合は、掲示で案内します。

### 【教科書販売】

各学期の授業開始時に教科書を販売しますので、教科書が指定された科目を履修する場合は、必ず購入してください。

#### (1) 前期

販売日・場所は掲示などで案内しますので、販売期間中にサービスセンター「COME ON」で購入してください。

#### (2) 後期

後期開講科目の教科書は、後期授業開始時に掲示で案内しますので、サービスセンター「COME ON」で購入してください。

### ●全国瞬時警報システム発令時の授業・試験の取り扱いと対応

全国瞬時警報システム（Jアラート）受信時の対応について、授業・試験中の場合は、直ちに中断することとし、安全が確認された後に授業・試験を再開し、中断時間により、授業・試験時間の繰り下げもしくは別日時に補講・試験実施の措置をとります。

休講及び試験を休止する場合の対応は、「悪天候等における授業・試験の取り扱いと対応」に準じて行います。

\*全国瞬時警報システムとは、弾道ミサイル情報、緊急地震速報、津波警報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を携帯電話等に配信される緊急速報メール、市町村防災行政無線等により、国から住民まで瞬時に伝達するシステムのことです。

## IV 試験と成績

学修状況を確認するために成績評価が行われます。成績評価は、出席状況、ノート、レポート及び各種試験などにより総合的に評価されますが、平素の成績を原則としますので必ず授業に出席し、授業内容を確実に理解できるよう努めてください。なお、授業回数の3分の2以上出席しなければ、成績評価を受けられません。

### 1. 定期試験

各学期末の定められた期間に定期試験が実施されます。定期試験については、事前に実施する科目、試験時間、教室等が掲示で案内されますので、受験前に必ず確認してください。

### 2. 追試験

定期試験を病気、事故、忌引等、次に示す事由により受験できなかった学生に対しては、本人の願い出に基づき、追試験を行うことがありますので、当該科目の試験日を含め7日以内に追試験願（病気の場合は医師の診断書、その他の場合も証明書等を添付すること）を提出してください。（応当日（7日目）が休日の場合は、翌業務日までとします。）

(1) 病気により欠席した者（診断書）

(2) 3親等以内の親族の忌引により欠席した者（葬儀案内書等）

親族が死亡したときは、次の期間を忌引扱いとすることができます。

(1 親等) 父母、子 7日

(2 親等) 祖父母、兄弟姉妹 3日

(3 親等) 伯叔父母 1日

\*配偶者は10日間となります。

いずれも葬儀の日及び往復の日数を含む。

(3) 被害者、加害者にかかわらず、交通事故により欠席した者（事故証明書）

(4) 天災、事故等の原因による公共交通機関の遅れにより欠席した者（遅延証明書）

(5) 就職試験、大学院入学試験を受験するために、事前に証明する書類を提出のうえ、欠席した者（試験通知書、受験票等）

(6) その他、正当な理由で欠席したと認められる者

\*再試験・最終試験の追試験は、原則として認められません。ただし、3親等以内の親族の忌引により受験できなかった学生に対しては認めることがあります。

### 3. 再試験

卒業予定者で、4科目以内を修得することで卒業要件を満たす場合にのみ受験できる試験です。再試験を受験できる科目は、卒業年次に受験した科目のうち、その評価が「F（不可）」の場合のみとします。ただしゼミナール科目や卒業研究については、再試験対象外です。

## 4. 受験停止

各授業科目において、出席回数が3分の2に満たない場合、「受験停止」となり、試験を受験できなくなることがあります。従って必ず授業には出席するよう習慣付けてください。なお、「受験停止」となった学生は各授業担当教員から連絡があります。

## 5. 試験などの受験資格

次のいずれかに該当する学生は、受験できません。

- (1) 履修登録をしていない学生
- (2) 試験開始後、15分以上遅刻した学生
- (3) 学生証（または受験生確認票）を所持していない学生
- (4) 追試験に必要な手続きをしなかった学生

## 6. 受験上の注意

- (1) 試験開始5分前までに入室し、指定された座席に着席してください。また、試験開始後15分を超えて遅刻した場合は、受験できないので注意してください。
- (2) 試験を受験する際は必ず学生証を持参し、写真を表にして常時机の上に置いてください。
- (3) 終了後は、監督員の指示があるまで退室しないでください。時間中に答案を書き終えた学生は挙手のうえ、監督員の許可を得て退室してください。ただし、試験開始後20分間及び試験終了前5分間は退室できません。また、一旦退室すれば、再入室できません。
- (4) 携帯電話などは必ず電源を切り、カバンなどに納めてください。

## 7. 不正行為

### (1) 試験中の不正行為

- ① 試験監督員の指示・注意等に従わない行為及び試験監督員の業務を妨害する行為
- ② 身代わり受験をする行為あるいは身代わり受験をさせる行為
- ③ 持ち込み許可を受けない書籍、ノート、携帯情報端末機等の利用
- ④ 持ち込み許可を得た書籍やノート等の貸し借り
- ⑤ 紙片、筆記用具、机等にあらかじめ書き込んだものの利用
- ⑥ 答案用紙、下書用紙等配布された用紙以外の用紙の利用
- ⑦ 答案用紙のすり替えや交換
- ⑧ 他人の答案を見ることあるいは自分の答案を他人に見せること
- ⑨ 試験場の内外を問わず、会話、電話、メール、符号等を利用した情報交換
- ⑩ 許可のない物品の貸し借り
- ⑪ 試験監督員の指示に反する行為

以上の試験における不正行為を行った者に対する懲戒手続は、「北陸大学学生懲戒規程」に従って行われ、当該学期並びに通年開講のすべての履修登録科目を無効とし、成績が0点となります。

## (2) 試験以外における不正行為

- ① 授業の中で行われる確認試験や中間試験等において「1. 試験中の不正行為」と同様の行為
- ② レポート等の提出において、web上にある他人の文章等を提出する行為
- ③ レポート等の提出において、他人の書いたものを提出する行為
- ④ 授業に出席すべき者が、自ら授業時間全てに出席せず、出席と見せかける行為
- ⑤ 授業に出席しない者が、他人に学生証を渡し、カードリーダーに通させ、出席と見せかける行為
- ⑥ 授業に出席しない者が、出席カード等の出席確認の書類に、他人に自分の氏名や学籍番号を書かせ、出席と見せかける行為

以上の試験以外における不正行為を行った者、また行為を引き受けた者も不正行為とみなされ、当該授業への出席が制限されたり、当該授業の成績が著しく低く評価されることがあります。また、重ねて行った者や悪質である場合、「北陸大学学生懲戒規程」に従って懲戒手続きが行われます。

## 8. 成績評価

各科目の成績は、100点満点で次のような評価で表示されます。60点以上を合格とし、合格科目は単位が認定されます。ただし、追試験は90点を最高点とします。

判定	成績評価	成績評価基準	
合格	S (秀)	90点 ~ 100点	特に優れた成績を修めたことを表します。
	A (優)	80点 ~ 89点	優れた成績を修めたことを表します。
	B (良)	70点 ~ 79点	妥当と認められた成績を修めたことを表します。
	C (可)	60点 ~ 69点	合格と認められる最低限の成績を修めたことを表します。
不合格	F (不可)	59点以下	合格と認められる最低限の成績を修めることができなかったことを表します。
	F 1 (試験欠席)	試験欠席により、不合格となったことを表します。	
	F 2 (受験停止)	授業欠席過多等により、不合格となったことを表します。	
対象外	TC (認定)	以下のような場合、修得単位として認定された成績であることを表します。 ・他大学等での履修により修得した単位 ・留学により修得した単位 ・資格修得等により認定された単位	

## 9. GPA制度

GPA (Grade Point Average) は、学生の学修意欲とその成果を総合的、かつ、客観的に確認できる指針となり、今後の勉学意欲をより一層高めることにもつながります。また、学生一人ひとりに対し、効果的かつ適切な指導を行うための資料として利用するとともに、各種奨学金等の選考資料としても利用します。

各学期のGPAが3学期連続して1.0未満の場合、退学勧告を受けることがあります。

GPAの計算方法は、各履修科目の成績評価 (S・A・B・C・F) をそれぞれ数値化し、その数値化した評点に単位数を乗じた総評点を登録科目の総単位数で割って算出します。

なお、GPAは進級基準にも適用されており、GPAが一定の基準に満たない学生は進級できません。

## ■成績評価とグレードポイント

※「T C（他大学での履修により修得した認定など）」については、GPAの算出に含まれません。

成績評価	ポイント
S（秀）	4
A（優）	3
B（良）	2
C（可）	1
F（不可） F 1（試験欠席） F 2（受験停止）	0

## ■GPAの算出方法

$$\text{GPA} = \frac{(\text{Sの単位数} \times 4) + (\text{Aの単位数} \times 3) + (\text{Bの単位数} \times 2) + (\text{Cの単位数} \times 1) + (\text{Fの単位数} \times 0)}{\text{履修科目の総単位数}}$$

例)	履修科目	単位数	評価	ポイント
	未来創造論 I	2単位	S	8
	国際マネジメント入門	2単位	A	6
	経済学入門	2単位	B	4
	簿記入門	2単位	C	2
	経営学入門	2単位	F	0

上記の計算式にあてはめると、 $\text{GPA} = 20 \text{ポイント} \div 10 \text{単位} = 2$ になります。F（不可）の科目も含まれますので、登録する際には、シラバスをよく読み、十分授業内容を検討してから登録してください。

## 10. 成績通知

- (1) 前期単位認定科目…最終的な成績通知書は、8月下旬に保証人宛に送付されます。
- (2) 後期単位認定科目…最終的な成績通知書は、3月下旬に保証人宛に送付されます。

※学生支援システムでも確認できます。

## 11. 成績疑義照会制度

### (1) 成績疑義照会制度とは

成績疑義照会制度は、科目の成績評価に関して疑義が生じた場合、定められた期間内に学生が「成績疑義照会願」により照会を求め、疑義内容を精査の上、妥当と判断された場合に成績評価を訂正するための制度です。

### (2) 成績疑義照会の流れ

科目の成績評価に関して疑義が生じた場合、「成績疑義照会願」を成績発表後7日以内に窓口へ提出してください（「成績発表後7日以内」とは、「学生支援システム」による成績発表日を算入せず、翌日から起算して7日以内とします。応当日が休日の場合は、翌業務日までとします。なお、各学期の成績疑義照会期間は、その都度、通知します）。

疑義内容に応じて、当該授業担当教員あるいは教務課が確認し、疑義内容が妥当と判断された場合には成績評価が訂正されます。また、申出学生には、教務課を通じて、文書で回答を配付します。

### (3) 成績疑義照会対象事項

成績疑義照会は、以下に該当する事項について照会を受け付けるもので、授業担当教員に対して、成績評価の再考・変更を求めたり、評価内容に関する不満を訴えたりするものではありません。

#### ●疑義照会対象事項

- ① 定期・再試験等を受験あるいはレポート等の課題を提出したにもかかわらず、成績評価が記載されていない場合。
- ② 定期・再試験等を受験あるいはレポート等の課題を提出し、成績評価で合格基準を満たしている具体的な根拠があるにもかかわらず、「F」評価となった場合。
- ③ 成績評価で合格基準を満たしていないにもかかわらず、「C」以上の評価が記入されている場合。

### (4) 成績疑義照会に際しての注意事項

- ・成績疑義照会は、科目の成績評価に関しての疑義を受け付けるものであり、定期試験等、個別の試験やレポート等の成績に関する疑義を受け付けるものではありません。個別の試験等結果に関して疑義照会を受け付ける場合は、その都度受付期間等を通知します。
- ・成績疑義照会に際しては、授業ガイドに記載の「成績評価の基準・方法」をよく確認してから願い出てください。
- ・照会期間以外の疑義受付は認められませんので、必ず定められた期間内に成績確認を行ってください。
- ・申請は、本人が教務課窓口で行うものとし、「代理申請」は認めません。
- ・評価内容に関する不満等については、「疑義照会願」を受け付けません。

## 12. 成績に関する問い合わせ

成績についての質問などがある場合、教務課に問い合わせてください。

## V 留 学

本学部では、実践的な語学力、国際感覚と教養を身につけた人間性溢れる真の国際人育成を目指す教育の一環として、両学科において「海外研修（2単位）」、「短期海外研修（1単位）」、「語学研修（2単位）」、「海外留学（6単位）」を開設しており、留学することを積極的に奨励しています。

### 1. 留学の種類

- (1) **中国研修プログラム**（留学先：中国）  
2～3週間の留学を夏季または春季休業期間中に実施します。
- (2) **グローバルプログラム・平成遣中使**（留学先：H29年度は、カンボジア、韓国、中国、台湾）  
約1週間から3週間の留学を夏季または春季休業期間中に実施します。
- (3) **短期留学**（留学先：アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、中国）  
約1ヵ月間の留学を夏季または春季休業期間中に実施します。
- (4)  **Semester留学**（留学先：アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、中国）  
約6ヵ月間の留学を前期または後期の学期期間中に実施します。
- (5) **長期留学**（留学先：アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、中国）  
約1年間以上の留学を学年及び学期を問わず実施します。

### 2. 留学形態

留学形態には次の3つがあります。

- (1) **派遣留学**  
派遣留学とは、本学が指定する大学などに学生を派遣する場合を言います。留学期間は修業年限に算入され、修得単位の認定も行われますので、4年間で卒業することができます。
- (2) **認定留学**  
認定留学とは、学生自らが選定した大学などに留学する場合を言います。留学期間は修業年限に算入され、修得単位の認定も行われますので、4年間で卒業することができます。
- (3) **休学留学**  
休学留学とは、学生が休学して、学生自らが選定した大学などに留学する場合を言います。留学期間は修業年限に算入されませんが、修得単位は認定されます。ただし、この留学の場合は、4年間で卒業することはできません。

### 3. 留学先

本学と提携している世界13の国と地域56の姉妹校・友好校等が留学先となりますが、主にアメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド及び中国の姉妹校・友好校が留学先となります。

### 4. 単位認定

単位は、以下の科目及び単位数を上限として、本人の申請に基づき留学先での修得単位及び帰国後レポートなどを総合的に判断したうえで認定されますので、留学すれば必ず単位が認定されるわけではありません。



- (1) **中国研修プログラム**
  - ・海外研修（2単位）
- (2) **グローバルプログラム・平成遣中使**
  - ・短期海外研修A～D（各1単位）
- (3) **短期留学**
  - ・語学研修A～D（各2単位）
- (4)  **Semester留学・長期留学**
  - ・海外留学A～D（各6単位）
  - ・留学期間の語学科目

※海外留学単位は履修単位制限に含まれません。

## 5. 留学に関する窓口

留学については国際交流センター、単位認定については教務課に問い合わせてください。

## VI 教職課程

未来創造学部では、中学校及び高等学校の教員を志望する学生のために、以下の教職課程が設けられています。各学科における卒業に必要な単位を修得するとともに、教職課程において「教職に関する科目」など所定の単位数を修得した学生は、教育職員免許法によって教員免許状が取得できます。ただし、計画的に履修しなければ免許状の授与資格を得ることができなくなりますので、注意してください。

詳細については、ガイダンスで説明しますので、教職課程履修希望者は必ず参加してください。

### 取得できる免許状

学 科	免許状の種類・教科	
	中学校一種	高等学校一種
国 際 教 養 学 科	英 語	英 語
国 際 マ ネ ジ メ ン ト 学 科	社 会	地理歴史 公 民
	保健体育	保健体育

※国際マネジメント学科では、以下の①、②のどちらかの組み合わせのみ取得可能となります。

- ① 中学校一種「社会」、高等学校一種「地理歴史」、「公民」
- ② 中学校一種「保健体育」、高等学校一種「保健体育」

## Ⅶ 学籍の異動

### 1. 休学

病気その他やむを得ない事由により、3ヵ月以上修学できないときは、休学することができます。必ず担任教員に相談のうえ、その理由を記載した所定の「休学願」を教務課に提出し、学長の許可を得なければなりません。なお、病気の場合は、医師の診断書を添付してください。また、学長が休学の必要性があると判断した場合には、休学を命じることがあります。

休学の期間は、原則として1年以内ですが、特別の事由がある場合に限り、1年を限度として休学期間の延長が認められることがあります。ただし、通算して4年を超えることはできません。

なお、休学期間は修業年限、在学期間には算入されません。

### 2. 復学

休学中の学生が、休学期間中に休学理由が解消された場合、復学することができます。復学を希望する学生は、所定の「復学願」を教務課に提出し、学長の許可を得なければなりません。なお、病気による休学の場合は、医師の診断書を添付してください。

### 3. 退学

退学には、次の2つの退学があります。

#### (1) 自主退学の場合

退学をしようとする学生は、必ず担任教員に相談のうえ、その理由を記載した所定の「退学願」を教務課に提出し、学長の許可を得なければなりません。なお、退学を願い出る場合は、その学期の授業料等の学費が完納されていなければなりません。

#### (2) 退学を命じられる場合

主に次の場合が対象になります。

- ① 在学期間が学則第14条に規定する8年を超えた場合
- ② 1回の休学期間が2年間を超えた場合または通算の休学期間が4年間を超えた場合
- ③ 授業料等の学費が指定期日までに納入されなかった場合
- ④ 長期間にわたり行方不明となった場合

### 4. 再入学

本学部を自主退学した学生が、学則第28条により再入学を希望し、それが認められた場合は、再入学することができます。

### 5. 転学科

転学科を希望する学生は、担任教員と相談のうえ、所定の手続きを教務課で行い、それが認められた場合は、転学科することができます。

### 6. 転学部

本学他学部への転学部制度があります。転学部についての詳細な事項は別途通知します。

## Ⅷ 各種検定試験

### 1. 語学検定試験

語学検定試験は、語学力を客観的に確認する絶好の機会となり、検定試験での合格またはスコアの達成を目標として勉強することは、語学力の向上を目指すうえで、重要な役割を果たします。特に実用英語技能検定（英検）、TOEIC、中国語検定試験（中検）、HSK及び日本語能力試験は、語学到達目標として設定されますので、受験しなければなりません。

また、語学検定試験での合格は、就職活動時において、非常に有効な資格となりますので、しっかり受験計画を立て、目標を達成できるよう積極的にチャレンジしてください。

#### (1) 英語関係検定試験

検定試験名称	実施時期	試験内容
実用英語技能検定（英検）	1次 6月・10月・1月	「聞く・話す・読む・書く」の4技能を総合的に確認するテストで、1次試験は筆記試験とリスニング、2次試験は面接により級別に合否が判定されます。
	2次 7月・11月・2月	
	URL : <a href="http://www.eiken.or.jp/">http://www.eiken.or.jp/</a>	
TOEIC	年8回	TOEIC (Test of English for International Communication) は、英語によるコミュニケーション能力を10点～990点のスコアで評価します。 ※学内でIPテスト（団体受験）を実施しています。
TOEFL	下記URLを参照	TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は、英語を母国語としない人々の英語力をスコアで評価します。英語圏の大学へ留学する際は、TOEFLのスコアが要求されます。インターネット版 (iBT) TOEFLが実施されます。

#### (2) 中国語関係検定試験

検定試験名称	実施時期	試験内容
中国語検定試験（中検）	6月・11月・3月	筆記試験とヒアリングにより総合的な中国語能力を確認するテストで、級別に合否が判定されます。
HSK	7月・12月・3月	HSK（「漢語水平考試」(Hanyu Shuiping Kaoshi)）は、中国語を母国語としない中国語学習者の中国語能力を確認するテストで、得点に応じた等級が認定されます。中国の大学（学部）へ留学する際は、HSKの取得が必要です。 ※年3回本学で受験できます。
TECC	7月・12月	中国語コミュニケーション能力検定（Test of Communicative Chinese）は中国語によるコミュニケーション能力を1,000点満点のスコア表示方式で評価します。

#### (3) 日本語関係検定試験

検定試験名称	実施時期	試験内容
日本語能力試験	7月・12月	日本語を母国語としない人の日本語能力を認定する試験で、級別に合否が判定されます。 ※7月はN1・N2のみが実施されます。 ※2回とも本学で受験できます。

【備考】各検定試験の申し込み方法等は、掲示にて通知します。試験の詳細及び最新情報は、各ホームページで確認してください。

## 2. 資格検定による単位認定（履修細則 別表2）

本学在学中に次の資格検定試験を受験し、合格または達成した場合、学則第12条及び履修細則第5条により、本学において修得した単位と認定します。検定試験の種類、基準及び認定単位等については、次のとおりです。なお、単位の認定方法は、原則として一括認定とします。

ランク	大学外学修(資格検定試験)の種類	国際教養学科		国際マネジメント学科	
		対象科目	認定単位	対象科目	認定単位
I	実用英語技能検定1級 TOEIC (IP) 900点以上 TOEFL-iBT105点以上	外国語科目 (資格英語科目)	6単位	外国語科目 (資格英語科目)	6単位
II	実用英語技能検定準1級 TOEIC (IP) 750点以上 TOEFL-iBT83点以上		4単位		4単位
III	実用英語技能検定2級 TOEIC (IP) 500点以上 TOEFL-iBT52点以上		2単位		2単位

ランク	大学外学修(資格検定試験)の種類	国際教養学科		国際マネジメント学科	
		対象科目	認定単位	対象科目	認定単位
I	中国語検定試験準1級 HSK5級240点以上	外国語科目 (中国語)	6単位	外国語科目 (中国語)	6単位
II	中国語検定試験2級 HSK5級210点以上		4単位		4単位
III	中国語検定試験3級 HSK4級		2単位		2単位
IV	中国語検定試験4級 HSK3級		—		1単位

ランク	大学外学修(資格検定試験)の種類	国際教養学科		国際マネジメント学科	
		対象科目	認定単位	対象科目	認定単位
I	日本語能力試験N1	外国語科目 (資格日本語科目)	8単位	外国語科目 (資格日本語科目)	8単位
II	日本語能力試験N2		4単位		4単位

### 【申請について】

- \*いずれもあくまで上限であり、かつ本人の申請にもとづくものとする。
- \*上限の単位数を分割して認定できない。
- \*在籍学年より上級学年の科目への適用は、これを認めない。
- \*各ランクにつき1回の申請とする（各ランクでの認定単位数は総数表示であり、積み上げ合算するものではない）。
- \*2回目以降の申請は上位ランクのみとし、認定済単位数との差分が認定される。
- \*単位認定申請は1年に1回（4月）とする（ただし、4年次生を除く）。
- \*その他の英語・中国語に関する資格試験を取得した場合は、個別に審査したうえで単位認定の特例を適用する場合もある。
- \*2017(H29)年度以降入学編入留学生は英語の資格検定による認定は以下の科目を対象とします。

国際教養学科：イングリッシュコミュニケーションV・VI、リサーチプロジェクトVII・VIII  
国際マネジメント学科：イングリッシュコミュニケーションI・II

## IX. 諸規程

# 北陸大学履修規程

## 第 1 章 総 則

(目的)

第1条 この規程は、北陸大学学則（以下、「学則」という。）第5章の施行のために、学科課程及び履修方法に関する必要な事項を定め、学生が自らの学修成果を高めるとともに効果的な履修を図ることを目的とする。

(履修)

第2条 学生は、学則及びこの規程により学科課程を履修する。

## 第 2 章 開 講

(開講科目)

第3条 開設する授業科目の配当年次及び単位数は、学部でこれを定める。

2 学長は、授業科目の開講年次及び開講学期の一時的な変更、授業科目及び単位数の一時的な分割等を、当該学部教授会（以下、「学部会」という。）の議を経て、行うことができる。

3 各年度の開講授業科目は、授業時間割により通知する。

## 第 3 章 履修の通則

(履修年次)

第4条 学生は、所属学科の所属年次に配当された授業科目を履修する。

(履修手続き)

第5条 学生は、各学期の指定する期日までに、履修する授業科目について、履修登録を行わなければならない。

(履修登録単位の制限)

第6条 各年次で履修できる単位数の上限は、学部でこれを定める。

(出席)

第7条 学生は、履修登録科目の単位認定を受けるためには、当該授業科目の授業回数の3分の2以上に出席しなければならない。

2 公認欠席及び学校保健安全法に基づく出席停止（以下、「公欠等」という。）の取り扱いについては、別に定める。

3 通年開講科目の授業時間数は、前期及び後期合算で計算するものとする。ただし、授業担当者が、あらかじめ学期の初めに学期ごとに計算することを指示した場合は、その指示に従うものとする。

## 第 4 章 履修の特例

(履修学科等の特例)

第8条 学生は、届け出等の諸手続きを経たうえで、他学部・他学科及び学部・学科に準ずる学内組織並びに大学コンソーシアム石川で開講されている科目を履修することができる。この場合、自由科目（進級、

卒業及び課程履修に必要な単位とはならない科目)として取り扱う。ただし、学長が認めた場合、学則第10条に定める修得すべき単位(以下、「卒業単位」という。)に読み替えることができる。

(履修年次の特例)

第9条 学生は、学部長がその必要性を認めた場合に限り、所属年次より上の年次の授業科目を履修することができる。

(履修科目の特例)

第10条 学生は、学部長が履修を指定した授業科目については、履修しなければならない。

## 第5章 成績評価

(成績評価)

第11条 成績は、第15条に定める試験及び平素の評価によるものとし、平素の評価は、次に掲げる各号によって行うものとする。

- (1) 受講・学習態度
- (2) 課題・レポート等の提出
- (3) その他、授業担当者が、シラバスで指示した事項

2 前項の各事項の成績評価に占める割合は、シラバスに明記する。

(評価基準)

第12条 成績は、100点を満点とし、60点以上を合格とする。

2 追試験を受験した場合の最高点は90点、再試験を受験した場合の最高点は69点とする。

3 前項の規定にかかわらず、公欠等により定期試験を受験できずに追試験を受験した場合の最高点は100点とする。

4 成績評価は、次の評語をもって表示する。

- (1) S (秀) 90点~100点
- (2) A (優) 80点~89点
- (3) B (良) 70点~79点
- (4) C (可) 60点~69点
- (5) F (不可) 59点以下
- (6) F1 (試験欠席) 試験欠席による不合格
- (7) F2 (受験停止) 授業の欠席過多等による不合格

5 成績評価に関し疑義がある場合、当該授業科目を履修した学生は、疑義を申し出ることができる。疑義照会の手続き等については、別に定める。

6 学則第12条に定める他大学等での履修により修得した単位を本学の単位として認定した授業科目については、成績評価は行わず、単位のみ認定とし、TC (Transferred Credit) と表示する。

7 第4項による成績評価に基づく学業結果を総合的に判断する指標として、Grade Point Average (以下、「GPA」という。)制度を採用する。

8 前項に定めるGPAは、次のとおりとし、各授業科目の評点にその単位数を乗じた積の合計を登録科目の総単位数で除して算出する。ただし、第6項に定める科目及び卒業単位に算入されない科目は算出対象科目としない。

- (1) S (秀) は、4ポイントとする。
- (2) A (優) は、3ポイントとする。
- (3) B (良) は、2ポイントとする。
- (4) C (可) は、1ポイントとする。

(5) F (不可)、F1 (試験欠席)、F2 (受験停止) は、0 ポイントとする。

9 不正行為を行った者に対する成績評価等の取扱いについては、別に定める。

(退学勧告)

第13条 病気その他やむを得ない事情がないにもかかわらず、学期のGPAが3学期連続して1.0未満であり、改善の見込みがないと判断される者に対し、学部長は退学を勧告することができる。

(成績評価の特例)

第14条 留年生に限り、既に単位を修得した科目の履修登録を行い、改めて成績評価を受けることができる。

2 前項による成績評価において、前の評価より上位の評価を得た場合に限り、後の評価を採用するものとする。

## 第 6 章 試 験

(試験の種類)

第15条 試験の種類には、平常試験、定期試験、追試験、再試験及び最終試験のほか、学部で定める試験がある。

(平常試験)

第16条 平常試験は、授業担当者が当該授業科目について、主として平常の授業時間又はその前後に随時行う試験をいう。

(定期試験)

第17条 定期試験は、各学期末に期日を定めて行う試験をいう。

2 定期試験の時間割等については、あらかじめ通知する。

(追試験)

第18条 追試験は、公欠等、その他やむを得ない事由により、定期試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。

2 追試験を受験する場合、学生は当該科目の試験実施日を含めて7日以内に追試験願（事由を証明する書類を添付）を提出し、所属学部の教務委員長の許可を受けなければならない。

3 追試験の日時については、その都度通知する。

4 追試験は前項に定められた日時1回限りとする。

(再試験)

第19条 再試験は、定期試験又は追試験を受験した結果、不合格と判定された者に対して行う試験をいう。

2 再試験対象科目等は、学部でこれを定める。

3 再試験の時間割等については、あらかじめ通知する。

4 再試験を受験する場合、所定の受験料を添えて、再試験願を提出しなければならない。

(最終試験)

第20条 最終試験は、再試験の結果、不合格と判定された授業科目について行う試験をいう。

2 最終試験対象科目等は、学部でこれを定める。

3 最終試験の時間割等は、あらかじめ通知する。

4 最終試験を受験する場合、所定の受験料を添えて、最終試験願を提出しなければならない。

5 同一年度内に最終試験を実施する授業科目は、やむを得ない事由を除き、再試験を受験した結果、不合格と判定された者を対象とする。ただし、定期試験の受験が認められなかった者は、その限りではない。

6 前項におけるやむを得ない事由とは、事故、病気、自然災害、3親等以内の親族の忌引き等とする。

(公欠及び出席停止が試験時に生じた場合の取り扱い)

第21条 北陸大学公認欠席等に関する細則に定める公欠事由及び出席停止が試験時に生じた場合の取り扱い



については、次のとおりとする。

- (1) 平常試験 授業担当者は、当該学生に対し、不利にならないよう配慮する。
- (2) 定期試験 追試験を認める。
- (3) 追試験 追試験は認めない。
- (4) 再試験・最終試験 追試験は原則として認めない。ただし、3親等以内の親族の忌引きにより受験できなかった者に認めることがある。

(受験資格)

第22条 次の各号のいずれかに該当する者は、試験を受けることができない。

- (1) 第5条に定める履修登録をしていない者
- (2) 第7条第1項に定める出席回数を満たしていない者
- (3) 試験時刻に所定の時間を超えて遅刻した者
- (4) 学生証を所持しない者
- (5) 学費、その他納入金を所定の期日までに完納していない者
- (6) 追試験・再試験等において、所定の受験手続きを完了していない者

## 第7章 単位認定

(単位の計算)

第23条 単位の計算は、学則第9条の定めにより、1単位の学修時間は授業時間及び自学自修時間（予習時間及び復習時間）を合わせて45時間とする。

- (1) 講義及び演習については、15時間の授業時間及び30時間の自学自修時間をもって1単位とする。ただし、30時間の授業時間及び15時間の自学自修時間をもって1単位とすることがある。
- (2) 実験、実技及び実習については、45時間の授業時間をもって1単位とする。ただし、30時間の授業時間をもって1単位とすることがある。
- (3) 講義、演習、実験、実技及び実習のうち、2つ以上の方法の併用により行う授業科目については、その組合せに応じ、前2号に規定する基準を考慮して1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、学修の成果を評価し、単位を与えることがある。

(単位認定の時期)

第24条 単位認定は、原則として、各学期末に行う。

2 前項の単位認定は、前期開講科目については前期末に、後期開講科目及び通年開講科目については後期末に行うことを原則とする。

## 第8章 進級

(進級基準)

第25条 学部・学科により進級基準を設け、これを満たさない場合は、上級年次への進級を制限する。

2 進級基準は、学部でこれを定める。

## 第9章 留学

(留学)

第26条 学生は、学則第12条に基づき、外国の大学又は短期大学若しくはこれに準ずる教育機関（以下、「大

学等」という。)での授業科目を履修(以下、「留学」という。)することができる。

(留学の形態)

第27条 留学の形態は、次の各号のとおりとする。

- (1) 派遣留学
- (2) 認定留学
- (3) 休学留学

2 派遣留学とは、本学が指定する大学等に学生を派遣する留学とし、留学期間を修業年限に算入のうえ、修得単位の認定を行う。

3 認定留学とは、学生が選定した大学等への留学とし、留学期間を修業年限に算入のうえ、修得単位の認定を行う。

4 休学留学とは、学生が休学のうえ、自らが選定した大学等への留学とし、修業年限には算入しないが、復学後に修得単位の認定を行うことができる。

(留学の単位認定)

第28条 前条の単位の認定は、学部の議を経て、行うものとする。

## 第 10 章 補 則

(補則)

第29条 この規程に定めるもののほか、学部に定めがある場合は、これに従うものとする。

## 第 11 章 規程の改廃

(規程の改廃)

第30条 この規程の改廃は、全学教授会の議を経て、学長が決定する。

附 則

1. この規程は、平成29年4月1日から施行する。

# 北陸大学未来創造学部履修細則

## (目的)

第1条 この細則は、北陸大学学則及び北陸大学履修規程（以下、「履修規程」という。）に定めるもののほか、未来創造学部学生（以下、「学生」という。）の履修方法について定める。

## (開講科目)

第2条 授業科目の開講年次及び単位は、別表1のとおりとする。

2 学長は、留学生のために、日本語科目を必要に応じ開講することができる。

## (履修登録単位の制限)

第3条 各年次で履修できる単位数の上限は、次の各号のとおりとする。ただし、スポーツ専門実技科目群（サッカー指定科目）、教職に関する科目及び自由科目は含まない。

- (1) 1年次44単位
- (2) 2年次36単位
- (3) 3年次36単位（編入生44単位）
- (4) 4年次44単位

## (出席)

第4条 出席回数が、当該授業科目の授業回数の3分の2に満たない学生の成績評価については、学部長が、授業担当者からの意見を聴取のうえ、決定する。

2 学生が学期の途中で復学した時の授業科目の受講資格については、第1項を準用する。

## (単位認定の特例)

第5条 学則第12条第2項に基づき、本学における授業科目とみなす単位認定の特例は、別表2のとおりとする。

2 前項の単位認定を受けようとする学生は、その成績を証明する書類等を添えて願い出るものとする。

3 学部長は、前項の願い出に基づき、未来創造学部教授会（以下、「学部会」という。）の議を経て、認定の可否を決定するものとする。

## (進級基準と留年)

第6条 進級は以下の基準を満たした者とする。

- (1) 1年次から2年次への進級は、修得単位数30単位以上（基礎ゼミナール・4単位含む）あること並びに当該年度GPA1.0以上とする。ただし、国際マネジメント学科は学科必修科目3科目6単位以上を修得しているものとする。
- (2) 2年次から3年次への進級は、修得単位数60単位以上（ゼミナールⅠ・4単位含む）あること並びに当該年度GPA1.0以上とする。ただし、海外留学中の学生はゼミナールⅠを修得の上、当該年度GPA1.0以上とし、修得単位数を問わない。
- (3) 3年次から4年次への進級は、修得単位数90単位以上（ゼミナールⅡ・4単位含む）あること並びに当該年度GPA1.0以上とする。ただし、海外留学中の学生はゼミナールⅡを修得のうえ、当該年度GPA1.0以上とし、修得単位数を問わない。

## (細則の改廃)

第7条 この細則の改廃は、学部会の議を経て、学長が決定する。

## 附 則

1. この細則は、平成29年4月1日から施行する。
2. 第2条別表1は平成27年度以降の入学生、平成29年度及び平成30年度編入学生から適用する。
3. 第5条別表2は平成27年度以降の入学生から適用する。
4. 第2条別表1-1及び第5条別表2-1は平成26年度入学生に適用する。

## 北陸大学公認欠席等に関する細則

(目的)

第1条 この細則は、北陸大学履修規程（以下、「履修規程」という。）第7条第2項に基づき、北陸大学学生の公認欠席（以下、「公欠」という。）及び学校保健安全法に基づく出席停止の取り扱い等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(公欠の定義)

第2条 公欠とは、第3条に定める事由に該当し、かつ第4条の手続きを行った者について、授業を欠席したものと取り扱わないことをいう。

2 一授業科目について、公欠が認められる回数は、当該授業科目の授業回数の3分の1までを原則とする。

(公欠事由等)

第3条 公欠事由、公欠期間、証明書類は次表のとおりとする。

公欠事由		公欠期間	証明書類
公共交通機関の遅延		当該授業時間	当該交通機関の発行した遅延証明書等
忌引き	配偶者	10日間	死亡に関する公的証明書（写し）または会葬礼状等
	父母、子	7日間	
	祖父母、兄弟姉妹	3日間	
	伯叔父母	1日間	
「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」に基づき、裁判員としての任務を果たす場合		裁判所から指定された期間	証明となるもの
教育実習及び介護等体験		当該期間	不要
地域連携センター実施のボランティア活動		当該期間	地域連携センターの証明印
強化クラブの公式試合出場		当該期間	出場を証明する書類、出場者名簿及び学生課の証明印
災害		当該期間	罹災証明書等
その他、当該教務委員長が特段の事由として認めた場合		当該期間	事由を証明する書類

2 遠隔地の場合、その他特別な事由があると当該教務委員長が認めた場合、前項の日数に必要な日数を公欠期間に加えることができる。

(公欠の手続き)

第4条 公欠の取り扱いを受けようとする者は、事前若しくは事後速やかに所定の公欠届に証明書類を添えて、当該教務担当部署に提出し、教務委員長の許可を得なければならない。

2 公欠が許可された場合、当該教務担当部署は授業担当教員に通知を行う。

(出席停止)

第5条 学生が学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症に罹患した場合、同第19条の規定に基づき、出席停止を命じることがある。

2 学生は、罹患後速やかに当該教務担当部署に電話連絡し、治癒後に公欠届に医師の診断書等（コピー可。出席停止期間が明記されたもの）を添えて提出するものとする。

3 出席停止の期間は、医師により治癒したと診断されるまでとし、必要に応じ、治癒証明書を求めることがある。

4 出席停止期間中の授業は、公欠扱いとする。

(公欠による授業の取り扱い)

第6条 授業担当者は、当該学生に対し、公欠期間中の学修効果を担保することができる方法で対応し、履修上不利にならないよう配慮するものとする。

(試験時の取り扱い)

第7条 第3条に定める公欠事由若しくは第5条に定める出席停止が履修規程第15条に定める試験時に生じた場合の取り扱いについては、履修規程でこれを定める。

(細則の改廃)

第8条 この細則の改廃は、全学教授会の議を経て、学長が決定する。

附 則

この細則は、平成29年4月1日から施行する。

# 北陸大学成績疑義照会内規

(趣旨)

第1条 この内規は、北陸大学履修規程第12条第5項に基づき、科目の成績評価に関して疑義が生じた場合、学生が照会（以下、「成績疑義照会」という。）を求め、妥当と判断された場合に成績評価を訂正するための手続きについて、必要な事項を定める。

(成績疑義照会対象事項)

第2条 成績疑義照会の対象となる事項は、次のとおりとし、授業担当教員に対する不服申し立てや、定期試験等、個別の試験やレポート等の成績に関する疑義は不受理とする。ただし、個別の試験等結果に関して疑義照会を受け付ける場合は、その都度、受付期間等を掲示等により通知する。

- (1) 定期・再試験等を受験あるいはレポート等の課題を提出したにもかかわらず、成績評価が記載されていない場合。
- (2) 定期・再試験等を受験あるいはレポート等の課題を提出し、成績評価で合格基準を満たしている具体的な根拠があるにもかかわらず、「F」評価となった場合。
- (3) 成績評価で合格基準を満たしていないにもかかわらず、「C」以上の評価が記載されている場合。

(成績疑義照会手続き)

第3条 学生は、科目の成績評価に関して疑義が生じた場合、所定の「成績疑義照会願」を成績発表後7日以内に当該教務担当部署に提出する。成績発表後7日以内とは、「学生支援システム」による成績発表日を算入せず、翌日から起算して7日以内とする。応当日が休日の場合は、翌業務日までとする。

- 2 各学期の成績疑義照会期間は、その都度、学生に掲示等により通知する。
- 3 申出は、学生本人が行うものとし、代理申請は認めない。
- 4 成績疑義照会期間以外の申請は認めない。

(成績訂正)

第4条 疑義の内容に応じて、当該授業担当教員あるいは当該教務担当部署が確認し、妥当と判断された場合には速やかに成績評価を訂正する。

- 2 申出学生には、当該教務担当部署を通じて、文書で回答を配付する。

(内規の改廃)

第5条 この内規の改廃は、全学教授会の議を経て、学長が決定する。

附 則

この内規は、平成29年4月1日から施行する。

# 北陸大学学生懲戒規程

## 第 1 章 総則

(目的)

第1条 この規程は、北陸大学学則（以下、この規程において「学則」という。）第51条第1項に基づいて行う学生の懲戒処分の適正と公正を図るために必要な事項を定める。

(基本的な考え方)

第2条 学生に対する懲戒は、学校教育法及び同法施行規則に基づいて大学に与えられた教育上の権限により、一定の事由の発生を要件として、学生に対して制裁として一定の不利益を与える処分である。懲戒は、懲戒に関する法理に従うとともに、教育的配慮に基づいて行うものでなければならない。

2 懲戒は、懲戒対象行為の様態、結果、影響等を総合的に検討し、教育的配慮を加えた上で行われなければならない。

3 学生に課せられる不利益は、懲戒目的を達成するために必要な限度にとどめなければならない。事前に学生に告知するとともに、意見陳述の機会を与えなければならない。

4 被処分者の将来を考慮し、成績証明書その他本人の成績及び修学状況に関する文書で、被処分者及び大学関係者以外の者が閲覧する可能性のあるものについては、原則として懲戒処分を受けた旨の記載をしないものとする。

(懲戒手続)

第3条 懲戒対象行為が発生した場合、関係する学部長及び留学生別科長（以下、この規程において「学部長等」という。）は、学長、学生部長、担任教員に通知する。

2 学部長等は、事実認定及び懲戒処分の内容について、次項以下の手続きに従い、学部教授会又は留学生別科会議（以下、この規程において「教授会等」という。）の議を経て、文書により学長に申請する。

3 懲戒対象行為に係る事実認定及び懲戒処分の内容の認定判断は、各学部又は留学生別科（以下、この規程において「学部等」という。）の責任において行う。

4 学部長等は、第2項の検討に際し、必要がある場合には、学長の許可を得て、調査委員会を設けることができる。

5 担任教員及び担当部署は、連携して第2項に定める、事実認定及び懲戒処分の内容について担当し、学部長等に結果を報告しなければならない。

6 懲戒対象行為に係る事実認定、懲戒処分内容及び執行に伴う措置の判断に当たっては、事前に当該学生に告知し、口頭若しくは文書による意見陳述の機会を与えなければならない。また、未成年の場合には、保護者からの口頭若しくは文書による意見陳述の機会を認めなければならない。

(懲戒処分の均衡及び調整)

第4条 学部長等は、懲戒対象行為を確認したときは、教授会等の議を経る前に、事実認定及び懲戒処分の内容に関する方針案を学生部長に報告する。

2 学生部長は、前項の報告について、全学的な均衡及び調整を図る観点から、学生委員会を招集、審議し、その結果を学部長等に通知する。

3 学生部長は、留学生別科生が関係する場合には、前項の学生委員会に、留学生別科教員を加えなければならない。

4 学生部長は、第2項の通知の後、更に別途検討すべき事案が含まれていると認めた場合、学部長等にその旨を通知するものとする。

5 学部長等は、第2項の学生委員会の審議結果に基づく学生部長の決定を踏まえて、第3条第2項を行うものとする。

6 学生部長は、第2項の検討に際し、必要がある場合には、学長の許可を得て、調査委員会を設けることができる。

(懲戒処分の決定)

第5条 学長は、全学教授会を招集し、学部長等からの申請事項について意見を求め、懲戒処分を決定する。

2 学長は、懲戒処分を決定するに当たり、教学運営協議会の意見を聴くことができる。

(懲戒処分の告知及び発効日)

第6条 懲戒処分の告知は、文書により、学部長等が学生本人に対して行う。

2 懲戒処分の発効日は、学長が決定する。

(告示)

第7条 懲戒処分を行った場合は、学内に告示する。

2 期限の定めのある懲戒処分は、期間の終了をもって解除とみなし告示しない。

(懲戒処分に関する文書)

第8条 懲戒処分に関する文書は、懲戒処分申請書、懲戒処分(退学・停学・謹慎・訓告)告知書、学生懲戒記録簿及び懲戒処分解除通知書とする。

(懲戒に関する記録の保存と開示)

第9条 学部長等は、懲戒原因たる事実並びに決定された処分の内容及び理由を記載した文書を保存しなければならない。

(懲戒の種類)

第10条 懲戒は、学則51条第1項の各号に定める、退学、停学、謹慎及び訓告とする。

(退学)

第11条 退学は、学生としての身分のはく奪である。

(停学)

第12条 停学は、無期停学及び有期停学とする。

2 無期停学の期間は3か月以上、有期停学の期間は1か月以上3か月未満とする。

3 停学の期間は、学則第14条に規定する修業年限及び在学期間に参入する。ただし、停学の期間が3か月をこえるときは、修業年限に参入しない。

4 学部長等は、無期停学処分を受けた学生について、その反省の程度及び学習意欲等を総合的に判断して、その処分を解除することが適当であると思われるときは、教授会等の議を経て、学長に対し、その処分の解除を文書により申請することができる。

5 学長は、処分解除の申請を受けたときは、全学教授会の議を経て、無期停学の解除を決定する。

6 無期停学は、原則として3か月を経過した後でなければ、解除することができない。

7 無期停学の解除の告知は、学内に公示するとともに、学部長等が被処分者本人に対して行う。

8 学部長等は、停学期間中においても、指導上の観点から必要と判断した場合には、指導教員を定め、学生を呼び出し指導を行うことができる。なお、指導教員を担任教員が兼ねることができる。

9 前項の指導教員は、指導記録簿を作成するものとする。

(謹慎)

第13条 謹慎は、自宅謹慎及び登学謹慎とする。

2 謹慎期間は、1か月以内とし、期間を定めて告知する。

3 謹慎期間は、在学期間及び修業年限に含まれる。

4 停学等の処分が確定するまでの期間を、謹慎させることができる。ただし、停学処分となった場合には、謹慎開始日を停学開始日とする。

5 謹慎は、原則として自宅謹慎とし、謹慎による欠席とする。ただし、教育的観点から授業等への出席がふさわしいと判断した場合には、指導教員を定め、その監督下において、登学謹慎を認めることがある。



なお、指導教員を担任教員が兼ねることができる。

6 登学謹慎の可否及び指導教員については、教授会等の議を経て、学長が定める。

7 前項の指導教員は、指導記録簿を作成するものとする。

(訓告)

第14条 訓告は、処分としての大学の教育的意思表示である。

(懲戒処分と自主退学)

第15条 学部長等は、懲戒対象行為を行った学生から、懲戒処分の決定前に自主退学の申出があった場合には、この申出を受理しないものとする。

(懲戒処分を受けた学生の義務)

第16条 懲戒処分を受けた学生は、懲戒期間中の連絡先、居所を、大学に明らかにしなければならない。

2 懲戒処分を受けた学生は、懲戒期間中であっても、大学からの呼び出しに応じなければならない。

## 第 2 章 各則

(試験等における不正行為に関する懲戒処分)

第17条 試験等における不正行為及びその対応については、「北陸大学試験不正行為規程」の定めによる。

2 試験等における不正行為の懲戒は、原則として、謹慎又は訓告等とする。ただし、重ねて行った者は停学以上とする。

3 常習的であることが判明した場合には、停学以上の懲戒とする。

### 第 1 節 刑事事件等に関する行為

(刑事事件等に関する懲戒処分)

第18条 交通事件、薬物犯罪、ストーカー犯罪、わいせつ行為等、コンピュータ又はネットワークの不正使用、知的財産を喪失させた場合等に関する懲戒処分については、第18条乃至第24条に定めるところによる。この場合において、情状によりその処分を減じ、また、再犯の場合はその処分を重くすることができる。

(交通事件に関する懲戒処分)

第19条 飲酒運転、無免許運転又は大幅な制限速度違反（刑法第208条の2に規定する進行を制御することが困難な高速度）等悪質な運転による人身事故に対する懲戒処分は、退学とする。

2 ひき逃げ等悪質な行為に対する懲戒処分は、退学とする。

3 その他の交通事件（構内におけるいわゆる暴走行為又は悪質な駐車違反を含む。）に対する懲戒処分は、退学、停学、謹慎又は訓告とする。

(薬物犯罪に関する懲戒処分)

第20条 薬物犯罪（大麻、麻薬、あへん、覚せい剤、危険ドラッグ等の薬物の所持、使用、売買又はその仲介等）に対する懲戒処分は、退学又は無期停学とする。

(ストーカー犯罪に関する懲戒処分)

第21条 悪質なストーカー犯罪（ストーカー行為等の規制等に関する法律（平成12年法律第81号。以下この項において「法」という。）第2条に規定するつきまとい、待ち伏せ等の行為）に対する懲戒処分は、退学又は無期停学とする。

2 その他のストーカー犯罪（法第3条に規定する行為等）に対する懲戒処分は、停学、謹慎又は訓告とする。

(わいせつ行為等に関する懲戒処分)

第22条 わいせつ行為（痴漢、のぞき、強制わいせつ、青少年保護育成条例等違反、盗撮（隠し撮り）等）

及びセクシュアル・ハラスメントに対する懲戒処分は、退学、停学、謹慎又は訓告とする。

(コンピュータ又はネットワークの不正使用に関する懲戒処分)

第23条 コンピュータ又はネットワークの悪質な不正使用(成績表等の文書の改ざん等の不正アクセス、外部システムへの不正アクセス、ネットワーク運用妨害、伝染性ソフトウェアの持ち込み等)に対する懲戒処分は、退学又は無期停学とする。

2 その他のコンピュータ又はネットワークの不正使用(著作権、特許権等の知的財産権の侵害、嫌がらせメール等)に対する懲戒処分は、停学、謹慎又は訓告とする。

(知的財産を喪失させる行為等に関する懲戒処分)

第24条 本学の知的財産(知的財産基本法(平成14年法律第122号)第2条第1項に規定する知的財産)を喪失させる行為(知的財産を無断で提供し、公表し、又は指定された場所から移動する行為、共同研究の遂行又は知的財産の確保を目的とする秘密保持契約に違反する行為、知的財産として保護対象に指定された情報を漏洩する行為等)に対する懲戒処分は、退学又は無期停学とする。

(その他の刑事事件に関する懲戒処分)

第25条 交通事件以外の刑事事件のうち、凶悪犯罪(殺人、強盗、強姦、放火等)に対する懲戒処分は、退学とする。

2 その他の刑事事件(傷害、窃盗等)に対する懲戒処分は、退学、停学、謹慎又は訓告とする。

## 第 2 節 懲戒処分対象以外の学生の本分に悖る行為

(懲戒処分対象行為以外の学生の本分に悖る行為への指導)

第26条 学部長等は、学生が懲戒対象には至らないものの、学則、諸規定若しくは指導を守らず、または、学生の本分に悖る行為をした場合には、必要に応じて適切な指導を行わなければならない。

## 第 3 章 職員の義務及び任務等

(職員の義務)

第27条 教育職員及び一般職員(以下、この規程において「職員」という。)は、懲戒対象行為を認め若しくは知ったときには、速やかに学部長等及び学事本部長に知らせなければならない。

2 職員は、第3条乃至第5条に規定する懲戒手続等により知り得た情報について、守秘義務を有し、細心の注意をもって扱わなくてはならない。

3 学事本部長は、対象学生の所属等を考慮し、事務等を担当する部署を定めなければならない。

## 第 4 章 規程の改廃

(規程の改廃)

第28条 この規程の改廃は、全学教授会の議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

# 北陸大学試験等不正行為規程

(趣旨)

第1条 この規程は、試験等において公正を損なう行為（以下、この規程において「不正行為」という。）についてその内容を定め、これに対する処置について、必要な事項を定める。

(試験における不正行為)

第2条 試験中における次の各号に定める行為は、不正行為とみなす。

- (1) 試験監督者の指示・注意等に従わない行為及び試験監督者の業務を妨害する行為
- (2) 身代わり受験をする行為あるいは身代わり受験をさせる行為
- (3) 持ち込み許可を受けない書籍、ノート、携帯情報端末機等の利用
- (4) 持ち込み許可を得た書籍やノート等の貸借
- (5) 紙片、筆記用具、机等にあらかじめ書き込んだものの利用
- (6) 答案用紙、下書用紙等配布された用紙以外の用紙の利用
- (7) 答案用紙のすり替えや交換
- (8) 他人の答案を見ることあるいは自分の答案を他人にみせること
- (9) 試験場の内外を問わず、会話、電話、メール、符号等を利用した情報交換
- (10) 許可のない物品の貸し借り
- (11) 試験監督員の指示に反する行為

(試験監督員の措置)

第3条 試験監督員は、前条に該当する行為が行われたと判断した場合には、直ちに当該学生（以下、この規程において「学生」という。）の受験を停止し、学生証、答案用紙及び不正行為に使用した物品等を全て預かり、学生を当該学部の教務委員長あるいは留学生別科教員（以下、この規程において「教務委員長等」という。）のもとに同行する。

(教務委員長等の措置)

第4条 教務委員長等は、当該学部の学部長あるいは留学生別科長（以下、この規程において「学部長等」という。）同席のもと、試験監督員及び学生から事情を聴取し、学部長等とともに事実の認定を行う。

2 前第3条及び第4条において、指定する教務委員長等あるいは学部長等が、対応できない場合には、別の教員を充てなければならない。

(懲戒手続)

第5条 試験における不正行為を行った学生に対する懲戒手続は、北陸大学学生懲戒規程に従って行うものとする。

(成績の評価)

第6条 前条に基づき、懲戒処分となった学生については、当該学期のすべての履修登録科目を無効とし、成績を0点とする。

2 前後期を通して、開講される科目の成績についても、前項に従うものとする。

(試験以外における不正行為)

第7条 試験以外における次の各号の行為は、不正行為とみなす。この場合、当該授業への出席が制限されたり、当該授業の成績が著しく低く評価されることがある。

- (1) 授業中で行われる確認試験（確認テスト）や中間試験（中間テスト）等（以下、この規程において「確認試験等」という。）において、前第2条に示す行為
- (2) レポート等の提出において、Web上にある他人の文章等を提出する行為
- (3) レポート等の提出において、他人の書いたものを提出する行為
- (4) 授業に出席しない者が、他人に学生証を預け、出席と見せかける行為

- (5) 授業に出席しない者が、他人に学生証を渡し、カードリーダーに通させ、出席と見せかける行為
- (6) 授業に出席しない者が、出席カード等の出席確認の書類に、他人に自分の氏名や学籍番号を書かせ、出席と見せかける行為

2 前条第3号乃至第6号において、これらの行為を引き受けた者も不正行為とみなす。

3 第1項及び第2項の行為を、重ねて行った者や悪質である場合には、懲戒対象行為として学部長に通知し、第5条に従って行うものとする。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、全学教授会の議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。